



# J.A しまねびより



SNSで旬な情報を  
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



2026

8

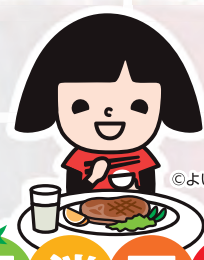
August  
Vol.125



## 特集 第12回通常総代会



J.Aしまね くにびき地区本部版





2026

J Aしまね第12回通常総代会を6月28日（日）、  
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第12回を数える通常総代会を6月28日（日）、浜田市の石央文化ホールで開催しました。

当日は、総代定数1,000人（欠員20人）に対し、950人（書面決議、代理人出席を含む）が出席。議長団に、松本雄一郎総代（やすぎ地区本部）、伊藤孝政総代（島根おおち地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下克美組合長は「令和8年度は中東情勢の不安定化など外部環境が不透明であり、コスト上昇、市場規模の縮小は避けられないと見ている。そうした厳しい情勢においても、事業利益3億49百万円、当期剰余金4億69百万円を目指し取り組む。農業振興支援事業についても、昨年度同様1億50百万円を計画している。J Aの最大の使命は地域農業の振興であり、それを実践するためには盤石な財務基盤の確立が必須条件。新たな運営体制への移行に向けては、組合員・利用者の皆様へ丁寧に説明を重ねる中でしっかりとご意見を拝聴し、合意形成を着実に図っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を活発に展開することを確認しました。



議長団 伊藤孝政 総代(左) 松本雄一郎 総代(右)



竹下克美 代表理事組合長

#### 食料・農業・地域政策の推進強化に向けた 基本農政の確立に関する特別決議（案）

我が国の農業・農村においては、生産基盤の弱体化や中東情勢等に伴う生産資材価格の高騰、供給不安定、気候変動に伴う高干害の拡大・自然災害の多発化など、様々な課題に直面している。

食料・農業・農村基本法の改正や農業構造転換策など具体的な、食料安全保障の強化に向けた取り組みが大きく前進し始めたなかで、国産農畜産物の消費者への安定供給を将来にわたり確保するためにも、水田政策の見直しなど重要政策の抜本拡充等により、生産性向上等の取り組みと、中山間地等の条件不利地における営農環境の整備等を加速化する必要がある。

以上をふまえ、J Aしまねは食料安全保障の強化に向け、下記の事項に取り組む。

#### 記

1. 中東情勢の悪化により、生産資材価格の高騰や供給不安定化等の影響が生じつつある中、国民の命に直結する食料生産を維持するため、今後の情勢に応じ、燃料や肥料、飼料の価格高騰対策などセーフティネット対策の拡充と供給安定対策に向け、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

1. 基本計画に基づく水田政策の見直しにあたっては、生産現場の理解・納得が得られるよう、この間の情勢変化をふまえて、見直しの目的や将来的に目指す姿が明らかになるよう、政府・与党に強く要請していく。

1. 消費者が我が国の食や農の実態を「認知」「理解・共感」し、最終的には国産農畜産物を選択する動機付けにつながるよう、「国消国産」を軸とし、関係機関と一体となった統一運動を引き続き展開する。

以上、決議する。

令和8年6月28日

第12回 島根県農業協同組合 通常総代会



## 第12回

## 通常総代会特集

## 令和7年度 事業報告

令和7年度は長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。

国内では為替が円安基調で推移するなか、輸入原材料やエネルギーコストの上昇により企業収益や家計負担に影響を及ぼしました。加えて、猛暑の常態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月には島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生するなど、農業経営においても厳しい環境となりました。また、政府では「食料品の消費税ゼロ」について議論が展開されるなか、実際に施行された場合には、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されています。一方、近年は米価の上昇や需給の不安定化が社会的な関心を集めたことにより、農業問題が消費者の生活に直結する形で認識されつつあります。

こうしたなか、JAグループにおいては引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合の役割発揮」の実現に向け、農業生産基盤や地域・組織・事業基盤の確立、



日高光弘 代表理事副組合長



珍部誠 代表理事専務

経営基盤の強化の取り組みを進めたほか、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、「食料安全保障の確保」「適正な価格形成」に向けた国民理解醸成及び行動変容に向けた情報発信の取り組みを進めました。

主な事業活動として、令和7

年度は、「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大、東・中部米集約倉庫の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みました。

取り組みの結果、販売品販売高が417億7百万円、購買品供給高が295億76百万円、貯金残高が9,867億13百万円、貸出金残高が2,919億57百万円、長期共済保有高2兆5,480億25百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13・82%となりました。

収支面については、事業利益が11億10百万円、経常利益は17億49百万円となり、当期剰余金は9億86百万円となりました。

|           |               |
|-----------|---------------|
| 貯金残高      | 9,867億13百万円   |
| 貸出金残高     | 2,919億57百万円   |
| 長期共済保有高   | 2兆5,480億25百万円 |
| 自己資本比率    | 13.82%        |
| 事業利益      | 11億10百万円      |
| 経常利益      | 17億49百万円      |
| 当期剰余金     | 9億86百万円       |
| 販売品販売・取扱高 | 417億7百万円      |
| 購買品供給高    | 295億76百万円     |

## 【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和8年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和8年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第4号議案 令和8年度における理事の報酬額の決定について
- 第5号議案 令和8年度における監事の報酬額の決定について





# 令和8年度 運営方針・事業方針

## 指導事業

### 農業振興

「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の2年目として、農業振興・営農指導、担い手育成支援等各部门で掲げる施策や指標の取り組みを通じて、生産基盤の維持・拡大に取り組みるとともに、「農業所得の増大」「安全・安心な地域農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障の貢献に努めます。また、コストに見合った適正な価格形成がなされるよう、生産者の再生産価格の確保に努めます。

持続可能な地域農業を実現するため、環境保全型農業を推し進め、「有機農業の生産・販路・販売拡大」「GAP（農業生産工程管理）の普及」「堆肥の利用促進」、ICT技術（ドローンやセンサー等）を導入した効率的な施肥や水管理、作物の生産性向上につなげる取り組み、また深刻化する異常気象に対応した品種の導入や栽培技術の確立など、農業者、行政一体となって推進します。

また、農業者の高齢化や後継者の減少に伴う労働力不足に加え、依然として生産資材価格が高止まりしている状況に

対応すべく「コスト低減」につながる取り組みを担い手目線で取り組みます。



## 重点実施事項

- ① 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ② 農業労働力の確保と育成
- ③ 出向く態勢の構築と営農活動支援
- ④ 次世代総点検運動を通じた地域農業（産地）振興計画の策定と実践
- ⑤ 島根県農協青年組織協議会の盟友拡大とJA事業運営への参画機会の増大
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業の継続実施
- ⑦ 営農指導強化による生産振興
- ⑧ 島根県農畜産物の安全・安心への更なる取り組み
- ⑨ 労働力軽減に向けたスマート農業の導入検討

## くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

地域特性を活かした活動を展開し、地域貢献や地域活性化事業を強化します。また地域に根差した活動を通じて、組合員地域住民の連携強化を促し、地域活性化に取り組みます。

「国消国産」の理念に基づき、地元農畜産物の魅力を広めるためのPR活動を強化し、消費者に地元産品の良さを理解してもらうとともに、地域農業を支える意識の醸成を図ります。

また、次世代層に向けた情報提供とタイムリーな情報を発信するため

に、紙媒体とデジタル媒体を併用して、より効果的なコミュニケーションを図り、JAの活動が地域に根付くことを目指します。

## 販売事業

農業戦略実践3力年営農計画に掲げた調和型農業（有機農業）の普及・実践、需要に応じた米生産・集荷・販売強化、品質向上による畜産物産出額の維持拡大、酪農経営向上など作物別の施策を通じて、持続可能な農業への構造転換を推進するとともに、安全・安心・高品質な農畜産物の安定生産・安定供給に取り組み、地域の発展に寄与していくことを目指します。

## 購買事業

### 生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、新たな運営体制において「地区本部の地域密着性」と「事業本部の専門性・効率性」を両立させるため、物流改革や資材店舗改革、EC取引による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

### 生活購買

自動車燃料事業については、経営効率化や人材確保、職員の専門性強化を図り、将来的な地域インフラの維持と

組合員サービスの向上を目指すため、直営事業の事業本部制等による県域一体化に向け、協議・検討を進めます。

## 信用事業

持続可能な島根の農業と豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、農業・くらし・地域の多様なニーズに対して、JAしまねの総合事業性を活かした金融仲介機能を発揮し、将来にわたって支持・期待されるJAを目指します。

## 共済事業

組合員・利用者には選ばれ続ける存在となるため、対面接点やデジタル技術を活用した接点づくりに取り組み、3Q活動を起点とした情報提供活動を展開していきます。あわせて、組合員・利用者へきめ細やかな保障点検と、ニーズに応じた保障・サービスの提供を行うことで、組合員・利用者の豊かな生活づくりへの貢献に取り組みます。

※令和8年度事業計画より一部抜粋  
令和7年度実績や令和8年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料  
はこちら





# 功労者表彰名簿

〈令和7年6月退任の皆様〉

第12回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

| 表彰者名    | 在任時の役職     | 選出地区等  |
|---------|------------|--------|
| 故 石川 寿樹 | (代表理事組合長)  | 本店     |
| 故 山根 盛治 | (代表理事副組合長) | 本店     |
| 田中 徹    | (常務理事)     | 本店     |
| 古川 敬    | (理事)       | 本店(青年) |
| 高橋美佐子   | (理事)       | 本店(女性) |
| 三島 明美   | (理事)       | 本店(女性) |
| 寺本美貴子   | (理事)       | 本店(女性) |
| 菅井 一    | (理事)       | くにびき   |
| 藤原 政文   | (理事)       | 雲南     |
| 戸田 雅之   | (理事)       | 雲南     |
| 蛭子 郁夫   | (常務理事本部長)  | 隠岐どうぜん |

| 表彰者名  | 在任時の役職    | 選出地区等 |
|-------|-----------|-------|
| 藤江美由紀 | (理事)      | 出雲    |
| 小村 伸治 | (理事)      | 出雲    |
| 高野 智子 | (理事)      | 出雲    |
| 山根 善治 | (常務理事本部長) | 斐川    |
| 青木 広幸 | (理事)      | 斐川    |
| 三上 博通 | (理事)      | 島根おおち |
| 藤若 将浩 | (理事)      | いわみ中央 |
| 田村 清己 | (常務理事本部長) | 西いわみ  |
| 黒谷 幹雄 | (代表監事)    | 中部    |
| 三島 滋夫 | (監事)      | 東部    |
| 倉橋 英二 | (監事)      | 西部    |

(敬称略)

(故 山根盛治様は令和5年10月退任)



## 第12回総代会 Q&A



**質問** 【業績還元に関する質問】 配当率の引き上げは歓迎するが、増分の一部は利益貢献度の高い地区本部への配分に充ててほしい。かつて1億円あった業績還元が直近では4,700万円まで落ち込んでいる。利益貢献している地区本部の不満を解消するため、次期以降は1億円規模の水準へ戻すよう要望する。

**回答** JAとして、出資配当、事業分量配当、地域還元の3本柱を重視しており、令和7年決算では検討の結果、1.25%を出資配当として実施しました。業績還元は、組合員への還元として出資配当に並ぶ重要なものであり、現在より増額できるよう、事業利益確保に向けて事業改革を進めていきたいと考えています。

**質問** 【農林中央金庫に関する質問】 2024年に起きた農林中央金庫の巨額赤字問題について、これほどの大損失は農協への還元額を減らし、組合員経営を圧迫する重大な問題である。今後は各農協が一丸となり、農林中央金庫の経営を厳しく監視し、言うべきことは言う姿勢を貫く必要がある。

**回答** 農林中央金庫においては、令和7年度、1千2百億円の黒字決算を達成し、財務の立て直しは図られたものの、評価損が残存しているため、今期も無配という結果に至っています。黒字でありながら配当ができない現状に対し、JAしまねをはじめ各組織は、全国会議等で復配を強く求めています。また、農林中央金庫法の改正により外部から2名の理事を登用するなど、経営体制の刷新も進められています。

今後も農林中央金庫の経営高度化に向けた動きを注視し、引き続き一日も早い復配を求めてまいります。

**質問** 【米価に関する質問】 令和8年度の米価に対する不安が農家間で募っている。米価が大幅に下落すれば、高齢化が進む中山間地域の農業は維持困難になる。営農指導員が減る現状で、農家を支援する体制も危機的だ。消費者に価格転嫁の必要性を広くPRし、8月の概算金は最低でも1万円/30kgを下回らないよう切に願う。政府の施策と連携しながら農林水産省へも働きかけ、農村を守るためにJAが力を発揮してほしい。

**回答** 令和8年産の概算金については、8月理事会での決定に向けて取り組んでいます。過去最高水準の民間在庫量、販売進度の低迷等、厳しい状況ではございますが、米のコスト指標である60kg当たり20,535円を目指し交渉を行ってまいります。また、島根県と連携し、備蓄米の買戻しについての要望活動も行っています。

営農指導員につきましては、新たな運営体制を検討する中で組合員の皆様の要望に応じてまいります。

この他にも  
多くのご意見を  
いただきました。



©よい食P

topics  
1

## 水稻生産者大会開催 水稻新品種の名称「つぶきらり」に

島根県と島根県農業振興協会、J A しまねは7月13日、出雲市のビッグハート出雲で令和8年度水稻生産者大会を開きました。大会では島根米新品種「島系84号」の名称を「つぶきらり」に決定したことを発表しました。当J Aの竹下克美組合長は、この「つぶきらり」について「島根を、日本を代表するお米となるよう、J Aでしっかり取り組んでいく」と意気込みを語りました。

高温に強い「つぶきらり」は、夏季の高温による品質低下への対策として育成され、多収で倒伏しにくく、粒が大きく良食味といった特性があります。名称は4551点の応募の中から選ばれ、名称考案者の福田しのぶさんには、石原恵利子副知事から記念品が贈呈されました。令和10年産から本格的に栽培される予定です。

大会には、生産者、県、J A等の関係者らが参加。基調講演では月刊食糧ジャーナルの鶴田裕編集部長が「品種動向と産地戦略」と題し米の販売戦略について語りました。



新品種「つぶきらり」に決定

topics  
2

## 「日本の農業どこへ行く」 組合長が島根大学で講義

J A しまねの竹下克美組合長は7月6日、島根大学で学生向けに出前講座を開き、農業の現状や協同組合の役割を通じて地域農業の担い手確保を呼びかけました。

講座には生物資源科学部の学生ら約70人が参加。前半ではJ A しまねの有機農業の取り組みや事業概要を紹介し、後半には竹下組合長が「日本の農業どこへ行く」と題して登壇しました。昨今の「令和の米騒動」や米の概算金決定の仕組みなどについて詳しく解説しました。

現場の課題に対する学生からの関心は高く、質疑応答では積極的な意見が相次ぎました。受講した学生は「価格決定の仕組みや地域の農業を支えるJ Aの機能が理解できた」と話しました。

当J Aと島根大学は令和5年2月に包括的連携協定を締結。今後も大学との連携を深め、農業の振興と地域社会の発展につなげていきます。



講義をする竹下組合長

topics  
3

## 生協しまねと意見交換 米集約倉庫も見学

J A しまねは6月24日、生協しまねの理事の皆様を招き、J A しまね東中部米集約倉庫の施設見学会と意見交換会を実施しました。この取り組みは、生産者組織であるJ Aと消費者組織である生協がそれぞれの視点で意見を交わし、食と農、地域社会の維持と発展のために連携できることを模索する目的で行われたものです。J Aからは竹下克美組合長、米穀園芸部の西尾一俊部長らが参加しました。

見学会では、今年3月に完成したばかりの米倉庫を視察し、物流の効率化の重要性等を説明しました。意見交換会では昨今の米価高騰を中心に、双方から多くの質問や率直な意見が寄せられました。

生協しまねの安井光夫理事長は「J Aと協力して取り組めることはたくさんあると実感した。今後も継続的にこういった機会を設けていくことが大切だ」と話しました。



米集約倉庫の見学会を実施



JALまね

# 鳥根米

## まんぷく フェスタ

2026

お米1人  
争奪戦!!

2026

# 9.20 日

10:00 → 15:00

## くにびきメッセ

大展示場(松江市学園南1丁目)

詳細は  
JAしまねInstagramにて  
随時発信していきます  
右の二次元コードからアクセス!



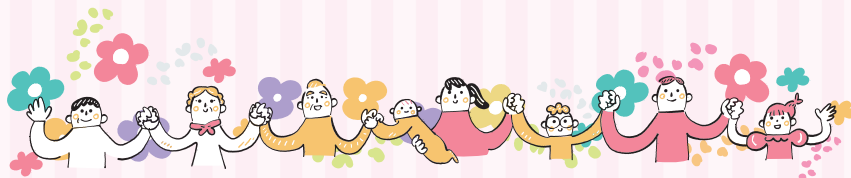
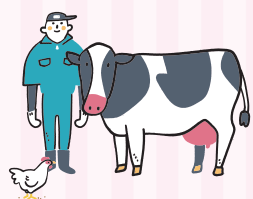
あなたの1票で  
ご飯のおとも

No.1が決まる!

# メシトモ GP

開催





## 「元気な地域」を女性部の力で!

### 島根おおち女性部

JA女性組織3カ年計画

『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で」の実践2年目です。

助けあい♡ 学びあい♡ 育てあい♡

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

島根おおち女性部では、瑞穂、羽須美、石見、川本、桜江の5支部とフレッシュミドルミズ部会幸せのたねたんぽぽが、食農教育や国消国産活動、研修会などに積極的に取り組んでいます。

女性部独自の活動として、夏期に行う研修会があります。今回は、詐欺防止と「家の光」記事活用をテーマに行いました。島根県警察川本警察署と地元の田所、出羽駐在所にご協力いただき、詐欺防止についてお話を聞いたほか、「家の光」記事活用では、部員が講師を務め「チョウと花のチャームバンド」を作りました。

また、冬期には、15年前から「わが家の味つけものコンテスト」を開催しています。今年も2月に開催する予定でしたが、前日に大雪が降り中止となりました。しかし、石見支部では14品のエントリーがあったことから、急遽、有志11人が集まり持ち寄り会を行いました。森光美佐子部長も駆けつけ「家の光」記事から「刻みマイタケとのりのみそ汁」を振舞いました。

島根おおち女性部は、これからも研修などを通して相互研鑽に努めていきます。

学びあい♡



## 一所懸命青年連盟

JA YOUTH

### JAしまね隠岐青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟は、会員12名（令和8年4月1日現在）で高宮武士委員長のもと米・畜産・野菜などの生産者が盟友として活動しています。

食農教育活動では、農業や食に関して興味を持ってもらえるよう町内の小学校で出前授業を行い、自らの声を直接子どもたちに届けています。

また、昨年度は町内のイベントにて隠岐の島町内で栽培されているお米の品種当てクイズを行い、普段食べているお米と違う品種を食べてもらうことでお米の品種による違いなどを感じてもらえるようなブースを設置し、多くの方に地場産品のPRを行いました。

今後も農業を通じた活動や交流の場に積極的に参加し、地域の活性化に貢献していきます。

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい





## 石灰資材で酸性土を矯正する

ホウレンソウはビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜です。特に日本人に不足しがちなビタミンB群（中でも造血作用に関係する葉酸）や鉄分、カリウムを多く含んでいます。

冷涼な気候を好み、生育適温は15～20度です。耐寒性は強いものの暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えてしまいます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培が容易で、特に冬取り（2、3月収穫）のホウレンソウは栄養価が高く、甘さも増しておいしいです。

### 【品種】

秋取り（10、11月収穫）では、生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「福兵衛」（タキイ種苗）など、冬取りでは寒さに強い「クロノス」（サカタのタネ）、「伸兵衛」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

### 【畑の準備】

ホウレンソウは酸性土を嫌います。土壌が酸性になると土壌中のアルミニウムが溶け出し、これが根の伸長を抑制するといわれています。そのため、アルカリ性である苦土石灰をまいて酸性土を矯正しましょう。

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混ぜて、幅100cm、高さ5～10cmの栽培床を作ります。

### 【種まき】

適期は9～10月です。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1、2cmのまき溝を切ります。このとき、園芸

用支柱などを土に押し付けて平らなまき溝を作ると良いでしょう。その後、1cm間隔に種まきします（図1）。

種まき後は約1cm覆土をして、たっぷり灌水（かんすい）します。そして、不織布のべたがけをして風雨や害虫から幼苗を守ります（図2）。

### 【間引き・追肥】

1回目の間引きは、発芽がそろったときに込み合っている所を抜き取ります。その後、2、3回に分けて間引きをして、最終的に株間4、5cmにします（図3）。

栽培期間が長くなる10、11月まきでは、草丈10～15cmの頃に1平方m当たり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします。

### 【病害虫防除】

ヨトウムシは見つけ次第捕殺し、アブラムシは、登録農薬で防除します。ただし、生育初期は不織布をべたがけして飛来を予防すると良いでしょう。

### 【収穫】

株間が広い（疎植）と、どの葉にも光が当たるように広がり（開帳性）、反対に株間が狭い（密植）と葉は細く、立ち上がった草姿（立性）になる傾向があります（図4）。

草丈25cmを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。

株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて300gくらいを目安に束ねます。

図1 種まき

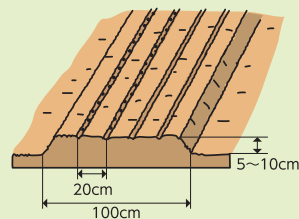


図2 ベたがけ

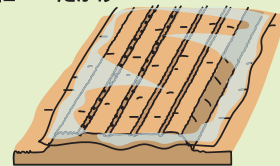


図3 間引き

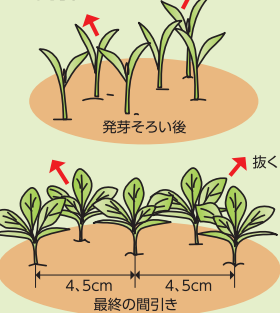
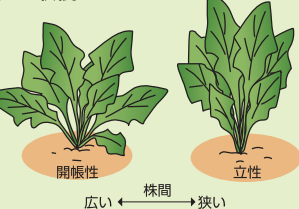


図4 収穫



栽培カレンダー（ホウレンソウ）

| 気候帯 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 冷涼地 |    | ●  | ■   | ■   |     |    |    |    |
| 中間地 |    | ●  | ■   | ■   |     |    |    |    |
| 暖地  |    | ●  | ■   | ■   |     |    |    |    |

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫

「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「ソラマメ」!



## 理事会情報（7月29日開催）

- ①JAしまね安全・安心な農産物づくり運用規程および協定書の改正について
- ②令和9年度 島根県農業政策及び予算に関する要望について（第1次）
- ③新たな渉外管理・指導、渉外体制の策定について
- ④「支店・ブロックの機構改革」等について
- ⑤「統括支店職員を本店職員扱いとする人事異動」のすすめ方について
- ⑥「管理部門集約のすすめ方」の一部変更について
- ⑦令和8年9月1日付 機構改革の実施について
- ⑧ディスクロージャー誌2026について
- ⑨「新たな運営体制」における職制規程別表の見直しの考え方

と方向性について

- ⑩「新たな運営体制」を踏まえた「子会社管理の方向性」について
- ⑪令和8年度におけるマネロン等の防止にかかる対応について
- ⑫組合と理事との取引状況について（定期承認分）
- ⑬コンプライアンス・マニュアルの改正について
- ⑭大口貸出金の承認について
- ⑮総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について
- ⑯常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰新退職年金共済 財政再計算の試算結果および定年延長に伴う企業年金規約変更手続きについて
- ⑱令和7年度決算監事監査報告書 整備改善を要する事項（個別意見）への回答について

# 令和8年度 くにびき地区本部 総代説明会開催



くにびき地区本部総代説明会を6月20日、宮農総合センターで開催しました。令和7年度の事業報告、令和8年度の事業計画、基本方針等主要内容について報告します。

当日は、総代138名のうち、103名が出席しました。

冒頭、出席者全員によるJA綱領の唱和。その後、竹下克美組合長が「総代の皆さまには、日頃よりJAしまねの事業・運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。昨年、過去最高額となった米の概算金については、本年も生産者の皆様にとって再生産可能な概算金となるよう、精一杯努力を重ねる所存です。本日は、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶しました。

続いて、越野浩昭本部長が「令和7年度決算は、皆さまのおかげで計画を大幅に上回る黒字となり、厚く御礼を申し上げます。現在は、新たな運営体制の移行に向け協議を進めているところですが、令和8年度も第4次中期経営計画等の第2年度として、引き続き『松江市農業の振興』『農業所得の増大』『積極的な地域振興』に取り組んでまいります。困難な農業情勢下ではありますが、引き続きしっかりと寄り添い支援をしてまいります。本日は幅広いご意見を賜りますようお願い申し上げます」と感謝と意気込みを語りました。

その後座長には、松浦幸治総代長（第3選挙区・松江南ブロック）を選出。JAしまねとくにびき地区本部の令和7年度の事業報告、令和8年度の事業計画等について説明し、出席者から意見、要望がありました。（11ページ「Q&A」参照）

こうした意見や要望を踏まえ、くにびき地区本部は組合員の皆さまから信頼され満足いただけるよう、役職員一同事業運営にあたってまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

## くにびき地区本部の概況

### 令和7年度事業実績（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

| 科 目     | 7年度実績(A)  | 7年度計画(B)  | 計画対比(A-B) | 科 目      | 7年度実績(A)  | 7年度計画(B)  | 計画対比(A-B) |
|---------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業総利益   | 2,887,330 | 2,797,550 | 89,780    | 事業管理費    | 2,775,329 | 2,786,700 | ▲11,371   |
| 信用事業    | 1,142,483 | 1,117,612 | 24,871    | 事業利益     | 112,001   | 10,850    | 101,151   |
| 共済事業    | 946,535   | 901,298   | 45,237    | 事業外利益    | 153,482   | 127,180   | 26,302    |
| 購買事業    | 310,141   | 293,065   | 17,076    | 事業外費用    | 49,392    | 39,353    | 10,039    |
| 販売事業    | 110,941   | 106,274   | 4,667     | 経常利益     | 216,091   | 98,677    | 117,414   |
| 保管事業    | 12,501    | 14,255    | ▲1,754    | 特別利益     | 74,511    | 1,793     | 72,718    |
| 加工事業    | 9,686     | 8,536     | 1,150     | 特別損失     | 93,573    | 90,773    | 2,800     |
| 利用事業    | 110,761   | 86,636    | 24,125    | 税引前当期利益  | 197,028   | 9,697     | 187,331   |
| 葬祭事業    | 254,298   | 278,341   | ▲24,043   | 法人税・住民税等 | 45,864    | 4,948     | 40,916    |
| 宅地等供給事業 | 9,533     | 19,748    | ▲10,215   | 当期剰余金    | 151,164   | 4,749     | 146,415   |
| その他事業   | 634       | 248       | 386       |          |           |           |           |
| 指導事業    | ▲20,187   | ▲28,463   | 8,276     |          |           |           |           |

※本店配賦を含む。

### 組合員数（令和8年3月31日現在）

（単位：人、団体、戸）

| 正組合員  |       |       | 准組合員   |       |        | 合 計    | 戸 数   |        |        |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 個 人   | 法人・団体 | 合 計   | 個 人    | 法人・団体 | 合 計    |        | 正組合員  | 准組合員   | 合 計    |
| 8,422 | 48    | 8,470 | 27,809 | 126   | 27,935 | 36,405 | 6,519 | 21,824 | 28,343 |

### 役職員の状況（令和8年3月31日現在）

（単位：人）

| 役 員  |       | 職 員 |           |            |
|------|-------|-----|-----------|------------|
| 常勤役員 | 非常勤役員 | 正職員 | （うち宮農指導員） | （うち本店勤務職員） |
| 2    | 3     | 229 | 20        | 31         |



竹下組合長



越野本部長



松浦座長



# Q & A



高木勇総代

## Q1 高木勇総代（六道）

昨年5月に営農組合の田植機が壊れ、12月に四条植えをJAから購入した。購入後、松江市農政課から9月に「小規模農業者による農地維持のための機械整備支援事業」の募集がされていたことを知った。同課に確認したところ、その内容はJAにも告知していたとのことであり、購入費用の3分の1を補助金として受けることができる制度であったようだ。そのことを知るすべがなく、営農組合で180万円弱の全額を負担する結果となった。確認した内容が事実なのか。また、周知する体制がどうであったのか伺いたい。

また、確認したところ9月は600万円の事業であり、9件応募があったが予算には届かず、3件の追加募集で達成したようだ。9月に募集をかけ9月末が締め切りとは、期間が短すぎる。市にも直接伝えたが、JAからも関係機関に対し、利用者の実態をふまえた募集期間になるよう言ってもらいたい。また、追加募集をかけるくらい周知がされていないということでもある。JAが組合員に寄り添った組織であるなら、広く周知して終わりはなく、4月に見積りも取っているので、該当者については目配りなど配慮をいただきたいかった。それがサービスだと思う。



中村隆副部長

## A1 中村隆副部長

市の補助金に関する周知につきましては、市からJAにも通知を受けており、JAのふれあい訪問日等において組合員の皆様へ周知をさせていただいております。また、高木総代以外にも周知不足だということ意見をいただいております。市も当初予算ではなく、補正等で本事業を新設されており、全農業者の皆様には完全な周知ができなかったことは反省すべきところだ。

市も広報等での周知が当然行われますが、JAも農業者団体として農業者の皆様へ周知する義務があります。今後は、周知についてJAにも遅滞なく連絡いただき、市と協力しながら皆様に迅速に情報が伝わるよう確認しております。前年度の補助金の対応につきましては、深くお詫び申し上げます。

## A1 越野本部長

重ねてお詫び申し上げます。今年度は、松江市、JA全農島根農機サポート（株）とも連携を深く取りながら、担い手農家だけでなく小規模農家や兼業農家の皆様方にも情報を出しつばなしではなく、対象物についての周知を改善してまいりたいと考えております。また、市に対してもしっかりと皆様の声を届けていきたいと存じます。昨年度の不手際につきましてはお詫びを申し上げます。大変申し訳ございませんでした。



新宮部長

## A2 新宮紀彦営農経済部長

本年度につきましては、広く組合員の皆様方に周知を図ろうと市と協議をする中で、市から情報をいただき、4月のふれあい訪問日に正組合員の皆様へ周知させていただきました。昨年度の反省を踏まえ市と連携を取りながら進めさせていただいております。また、ご不明な点等があれば、JAまたは市にお問い合わせいただければ対応させていただきます。

Q2 今年5月にも8年度予算での補助金があり、市の担当者に聞いたところ、これはJAには言っていないとのことであったが、存じておられたのか。



青山嘉夫総代

## Q3 青山嘉夫総代（朝酌）

組合長の挨拶で、昨年から今年にかけての米価格の統制の話があった。情報では2400250万トンの米が余っているということ、今後米価がどうなるか生産者は気になるところである。これまでJAに出荷せず卸業者等に流れていた米が相当数あると思うが、今年は米卸で米が余っているの引き取ってもらえないことが予想される。そのような米が今後JAに流れるのではないかと、それが概算金に影響するのではないかと感じている。JAに長年出荷している者としては影響がないようにしてもらいたい。対応をどうされるのか伺いたい。



日高副組合長

## A3 日高光弘副組合長

JAしまねの令和8年度の集荷目標は、生産者の作付け意向が前年を数%上回っていることを考慮し、前年より1,000トン上乗せした33,500トンを想定しています。島根県の水稲生産量約80,000トンの内訳は、概ね5割が保有米・緑故米として消費され、残る5割強がJA出荷や直販に回っているものと考えています。現在、6月末を目途として出荷契約書を取りまとめているところですが、昨年より大幅に増加しているとの報告は受けておりませんし、増加したからといって概算金に直接影響するとは捉えておりません。それよりも、米余りの状況の中で国内市況・取引価格が概算金に影響し、その影響が大きいと考えています。また、未契約の米については、出荷契約をいただいた方と比較し当然価格を下げ買い取る等、当初から示している公平な対応をしたいと思います。

Q4 営農指導について、生産額を上げていきたいのであれば、しっかりとやっていただきたい。近年ずっと営農指導員が2〜3年で異動してしまう。これで生産目標が達成されるのか疑問に感じている。管内ではキャベツ等地域を代表する品目があるが、持続的な指導ができるのか。また、営農指導員の資質アップも要望する。しっかりと腰を据えて取り組んでいただきたい。

## A4 日高副組合長

数年前から全ての地区本部で聞いています。当JAでは、5年を超えないというルールで人事異動をすることとしています。但し、JA内部でも課題として認識しており、人事教育基本方針、異動方針等を検討しています。専門的知識・知見・経験を持った職員については、長期間いつまでもという訳にはいきませんが、可能な限り専門的な分野で経験を更に重ねていくといったJA全体での職員教育方針、異動方針等を現在検討中です。



坪倉慶総代

## Q5 坪倉慶総代（本店）

地区本部の決算について、当期剰余金計画が約470万円に対し、1億5,100万円であり、また経常利益もそれなりに努力されたのだと思うが、特別利益は約170万円の計画に対して7,400万円の実績であった。この内訳を簡単に良いので教えてください。

## A5 嘉本智美常務

特別利益というのは、くにびき地区本部独自のものではありませんが、一般的に補助金や固定資産を売却した際の利益で、1年の事業の活動とは違うものの受け入れがあります。詳細は手元に持ち得ておりませんが、本店も含めて金額を計上しており、それが地区本部に配賦された金額だと考えております。



嘉本常務

## A5 越野本部長

決算の報告をしておきながら、内容を明確にお答えすることができず申し訳ありません。特別利益とは、固定資産を処分した際の収益、臨時収入、一般補助金が必要な内容となります。地区本部単独で得た収益は1,735千円であり、これが本店損益と連結すると、実績数値の74,511千円となります。全体の損益については、地区本部単独の損益に加えて、本店損益が地区本部ごとの割合に応じて加減算され算出されています。その本店損益について、手元の資料では明確にお答えできず申し訳ございません。内容については、皆様方へ後ほど文書でお伝えさせていただきます。

特別利益の内訳 (単位：千円)

| 項目      | 金額     | 内容             |
|---------|--------|----------------|
| 固定資産処分益 | 948    | 旧大芦店売却、干拓農機具処分 |
| 一般補助金   | 787    | 産直出荷配送用冷庫取得    |
| 地区本部    | 1,735  | ①              |
| 一般補助金   | 72,776 | 東中部米集約倉庫取得     |
| 本店      | 72,776 | ②              |
| 合計      | 74,511 | ①+②            |



# 令和7年度 事業報告

令和7年4月1日  
～令和8年3月31日



令和7年度米集荷決起大会  
(7月29日)



担い手訪問  
(5月30日)

## 営農指導・販売事業

- 底等によりイネカメシ類の発生量は減少。
- ②米集荷は、役員同行の担い手訪問(5/30・写真)や生産者への出荷依頼等集荷対策を実施し、JAへの出荷を促進。米集荷率向上と、生産者の経営安定につなげるため、「米集荷決起大会」を開催(7/29・写真)。申出数量83,450袋(前年度96,042袋)に対し、集荷実績86,491袋(前年度66,627袋)、申出対比103.6%(前年度69.3%)の実績。
  - ③役職員による「かがやき舞にくびき“つや姫(無洗米)”」の新米キャンペーン(9月～)を実施。
- (2) **野菜**
- ①「くにびきキャベツ」は、夏場の高温・乾燥による定植後の害虫被害が発生した影響により、出荷初期は大きく減収。その後は安定した出荷となり、販売数量は788t(前年729t)と概ね平年並みの実績。
  - ②新たな振興品目である「くにびき南瓜」「くにびきレタス」「くにびきさつまいも」と高収益作物「島根たまねぎ」の特産化に向け、新規栽培者の確保と生産者の所得向上、生産拡大に取り組んだ。各生産者・作付面積は、南瓜で47経営体・8.3ha(前年48経営体・7.68ha)、レタスで21経営体・5.7ha(前年21経営体・4.6ha)、さつまいもで9経営体・1.0ha、たまねぎで3経営体・3.4ha(前年4経営体・3.98ha)の実績。
  - ③「はまぼうふう」は、新規生産者1名が加わり生産量が拡大。また、広島・岡山・大阪・山陰の各市場へ出荷し、市場との情報交換を行い有利販売に取り組んだ。生産者・作付面積は、7経営体・0.57ha(前年7経営体・0.5ha)の実績。
- (3) **西条柿**
- ①西条柿「こづち」は、春の気温の寒暖差が影響し奇形果の発生、遅霜の被害による収量の減少及び夏の猛暑により小玉傾向で出荷量が減少(10/10・写真)。県内外の市場とサンサン運動(9

96.1ha)の実績。

8. 安定的な販売に取り組むため、収穫前契約を推進し、米卸業者に対応した品種転換に取り組み、集荷数量で「きぬむすめ」1,143.2t(前年度787.9t)、「つや姫」695.1t(前年度573.8t)の実績。
9. 良質米生産の推進と売れる米づくりの実践に向け、「水稻指導会」の開催、「稲作メール」「稲作情報」による情報提供を実施し品質向上対策に取り組んだ。1等米比率については、収穫時期の高温による影響で「コシヒカリ」が9.4%(前年13.6%)と低く、「きぬむすめ」で65.7%(前年78.2%)、全体で53.6%(前年68.8%)と前年より一等米が減少。
10. 地産地消の取り組み
  - (1) 新規産直会員の増加に向け「さんちょく営農塾」を開講(3月)し、17名が参加。令和7年度の出荷者協議会は、46名4団体が新たに加盟し1,123名の会員数。
  - (2) 産直事業は、みしまや学園店にインショップの産直売場を新設し販売強化に取り組んだ。全体販売額は566,434千円(前年比99.5%)の実績。
  - (3) 産直の品揃え拡充に向けて、出荷者協議会各支部で野菜栽培講習会を実施。
  - (4) 学校給食の地場産野菜利用率増加に向け、関係機関、生産者と連携を取り、新たな品目の提案等学校給食への地場野菜提供を実施。
  - (5) 店舗間での出荷偏りを解消し、安全・安心な地元産をバランス良く届けることや、生産者の負担軽減を目的に産直出荷配送車両を導入。(8/27・写真)
11. 農畜産物別の取り組み
  - (1) **水稻**
    - ①作柄については、田植え後は概ね順調に生育。分げつ期～幼穂形成期は、気温が高く藻類やガス湧きの発生する圃場が散見され、全体的に茎数が少ない傾向。梅雨明けが早く出穂期～登熟期となる7～8月は少雨・高温・多日照が続く、高温により生育が早まり、多日照の影響から全体的には収量は多くなったが、夏期高温の影響により米の品質に大きく影響。また、防除の徹



松江どう生産組合設立  
(7月3日)

### 主な農産物販売高

|     |        |
|-----|--------|
| 米   | 946百万円 |
| 野菜  | 837百万円 |
| 果樹  | 60百万円  |
| 畜産物 | 182百万円 |

1. JAしまね「第4次農業戦略実践3カ年営農計画」(令和7年度～令和9年度)の初年度として、重点実施事項に基づき、管内の農業振興に取り組んだ。
2. 新規就農者等を対象とした育成研修の一環として、農産物のキャッチコピー等を学ぶ研修会を開催。また、新規就農希望者の就農計画作成等の就農支援を島根県、松江市と連携し実施。
3. 担い手サポートセンターを中心に、担い手経営体に対し専門家による経営改善に向けたコンサルティングを実施。また、農林中央金庫とローンセンターと連携し、経営課題を可視化し、短・中・長期的な課題に対し解決策を提案する担い手コンサルティングを実施。
4. 令和6年度に設立した2法人に対し関係機関と連携し継続して相談・支援し、リゾケア対応や税務申告指導を実施。
5. 労力支援として(株)農協観光企画の「援農ボランティア」を活用し、2法人に対して農業作業支援を実施。また、農福連携へ向けた取り組みの一環として新たな経営体に社会福祉協議会とマッチングを実施。
6. 新規就農者の大型・大規模資産施設取得に向けた支援として、消費税還付が可能な課税事業者となるようアドバイスを行い、就農がスムーズに出来るよう取り組んだ。
7. 水田を活用して栽培可能な作物である新規需要米について、主食用米高騰により飼料用米の作付面積は21.7ha(前年度63.6ha)と減少。また、耕畜連携によるWC S用稲は79.4ha(前年度





島根県へ「大根島牡丹」を贈呈  
(11月20日)



特産西条柿「こぶち」の選果  
(10月10日)



産直出荷配送車両出発式  
(8月27日)

- (2) 廃棄農薬2,283kg、廃棄プラスチック157,676kgを回収し、適正処理による環境にやさしい農業を推進。

## 2. 生活

| 区分        | 実績        | 備考                                 |
|-----------|-----------|------------------------------------|
| 自動車       | 260,374千円 | 車両販売 224,850千円<br>整備部品 35,524千円    |
| L P<br>ガス | 252,770千円 | 供給 242,411千円<br>ガス器具 10,359千円      |
| 生活<br>資材  | 84,685千円  | シロアリ工事 52,780千円<br>テレショップ 30,618千円 |
| 合計        | 597,759千円 |                                    |

## 資産管理・相続相談事業

### 1. 資産相談

| 区分      | 実績   |
|---------|------|
| 不動産売買相談 | 21件  |
| 相続関連相談  | 131件 |
| 贈与関連相談  | 7件   |
| 所得税関連相談 | 3件   |
| 土地利活用相談 | 4件   |
| 法務関連相談  | 1件   |
| その他     | 7件   |
| 合計      | 174件 |

### 2. 宅地等供給

- (1) 不動産売買3件(前年度3件)。
- (2) 住宅等の改修リフォーム5件(前年度13件)。
- (3) 53棟322室(前年度53棟322室)の賃貸住宅管理※空室率9.32%(前年度8.39%)。

## 葬祭事業

1. 多様化する葬儀形態に合わせ、ご家族・ご遺族に安心して利用いただけるよう葬儀を施行。
2. 葬儀施行件数は516件(前年度588件)で、うち「虹のホール」の会館利用は359件、会館利用率69.6%(前年度405件、68.9%)の実績。
3. 葬祭センター(虹のホールこほく隣接)での葬儀無料相談や、自宅等への出張相談(61件)に取り組んだ。
4. 利用者との絆を大切にし、法要ギフト・墓石・仏壇仏具等の提案活動に取り組んだ。

## 保管事業

米の集荷・検査買入数量は、下佐陀倉庫973t(前年度1,075t)、ライスターミナル「米蔵」1,141t(前年度923t)の実績。また、穀物検査業務については、国の検査基準に従い適正な検査を実施。

## 利用事業(営農)

### 1. 育苗

水稻苗は80,462箱(前年度79,867箱)、野菜苗は12,724トレー(前年度12,538トレー)の育苗実績。

### 2. 米穀乾燥調製施設

カンントリーエレベーター「稲蔵」987t(前年度873t)、南ライスセンター454t(前年度345t)の処理実績。

### 3. 無人ヘリ防除

水稻の防除面積は、330.0ha(前年度235.6ha)の散布実績。

## 加工事業

### 1. 雲州人参

出荷量は34.3kg(前年度40.3kg)の実績。また、「種苗確保」に取り組んだ。さらに、由志園アグリファームで委託加工を実施。

### 2. 茶

一番茶は、3月以降気温の低い日が続いたことで芽の伸びが悪く、また遅霜被害の影響により摘採量は減少。秋冬番茶も、一番茶同様に摘採量は減少。茶工場取扱量は、一番茶、秋番茶の合計が14.8t(前年度24.2t)の実績。また、全役職員による販売活動(サンサン運動4月～5月)を継続実施。

## 購買事業

### 1. 生産資材

| 種類   | 実績        |
|------|-----------|
| 肥料   | 236,196千円 |
| 農薬   | 153,513千円 |
| 飼料   | 89,630千円  |
| 生産資材 | 291,836千円 |
| 合計   | 771,175千円 |

- (1) 集落営農組織・認定農業者等の担い手を対象に、提案型訪問活動を実施し、超大型規格や低コスト農薬等ニーズに即した資材を提供。

月～10月)を中心に15.5t(前年度18.7t)の出荷量。

- ② 東出雲町特産「煙ほし柿」は瀬戸内市場、「あんぽ柿」は広島、京都市場を中心に出荷。生果と同様、奇形果の発生及び夏の猛暑の影響もあり小玉傾向となったが、出荷量は昨年よりも増加。

### (4) 牡丹

- ① お歳暮・正月向けを中心とした牡丹鉢花は、開花調整期間は順調に生育。消費者需要に対応する数量を確保することができ、出荷量は4,448鉢(前年度4,375鉢)の実績。
- ② 苗木用の普通苗は、生産量の減少により出荷量が4.1万本(前年度5.1万本)と減少。既存の販売先との繋がりに重点を置いた販売に取り組んだ。
- ③ 持続可能な牡丹生産環境を実現するため、島根県へ「正月咲き牡丹」を贈呈。(11/20・写真)

### (5) そば

播種時期の強い降雨による発芽不良、開花期の高温による結実不良の影響および帰化アサガオの発生により刈取不能圃場が多く、前年と比較し収量が減少。栽培面積は96.4ha(前年度105.2ha)、収量は15.1t(前年度26t)の実績。

### (6) ぶどう

松江市内で生産されるぶどうの生産拡大と販売力強化を目的に、松江ぶどう生産組合が設立。(7/3・写真)

### (7) 畜産

- ① 全国的な繁殖農家の減少により、子牛価格は高く推移。子牛出荷頭数は、96頭(前年度95頭)と前年並みの実績。
- ② 和牛繁殖雌牛の生産性向上のため、県単・市単事業等の補助事業を活用し、優良雌牛を13頭(前年度13頭)導入更新。
- ③ 生乳は、乳量が132t(前年度126t)、販売高が18,879千円(前年度18,245千円)の実績。
- ④ 鶏卵は、物価高騰の影響により卵価が値上がりし、販売高は44,994千円(前年度34,750千円)の実績。





第20回記念キッズサッカー大会  
(11月29日～30日)



年金友の会グラウンドゴルフ大会  
(10月24日)



「SNSを活用した情報発信強化」開始  
(4月21日)

## 共済事業

- 決定。また、JAグリーン・グリーンショップの今後の店舗戦略について、改革推進プロジェクトや地区本部運営委員会、地域別意見交換会等において協議し、各店舗方針を制定。同方針に基づき、令和8年3月にグリーンショップやくもを閉店。
- (3) 信用・共済事業改革として、現在の13支店を「組合員の拠り所・地域拠点」として今後も維持していくため、ブロック体制による業務集約化・効率化について令和8年4月からの一部店舗における昼休業導入及び融資業務集約に向け協議を進めた。また、「旧ふれあい店」の有効活用や処分に併せてATMの再編を検討し、旧大芦・意東店ATMを廃止（旧大芦店ATM：3月、旧意東店ATM：5月）。効率的店舗運営と管理部門の見直しで人員を「出向く体制」へ転換し、渉外担当職員を充実（増員・再任用）させ、体制を強化。
  - (4) 企画総務部門では、一部用途が不明瞭になっていた「集落組合助成金」について、実態調査を実施するとともに、有効活用に向け改革推進プロジェクトで協議を進め、令和8年度から「申請方式」へ変更することを決定。ふれあい座談会において意見集約を実施。
  - (5) 当地区本部が抱える諸課題の解決に向け「不稼働資産流動化」「JAグリーン・グリーンショップ改革」「米集荷・販売運動」「集落座談会・集落委員あり方検討」「くにびき創生」「くにびき協同サービス体制検討」「有害鳥獣対策支援」「八束特産振興」の8つの改革推進プロジェクトに引き続き取り組み、その解決に向けた具体策について地区本部運営委員とともに協議・検討を行い、実施可能なものから取り組んだ。

### 2. 管理

「コンプライアンス・プログラム」に基づく年間行動計画を策定し、実践。また、コンプライアンス遵守・不祥事未然防止の強化に取り組んだ。

### 3. 人事

「農業協同組合らしい人づくり、組織基

1. 組合員・利用者へ感謝の気持ちをお伝えするとともに、絆の強化を目指し、「3Q活動」を実施。JA事業や共済事業に関連した情報提供ならびに未請求案件（入院や手術、建物被害等）の解消を目的に、23,376人のフォロー訪問活動を実施。
2. 共済契約保有高は、満期契約の増加や転換契約・解約等により前年度より減少し、期末保有高は4,422億円（前年度4,619億円）の実績。
3. 多発する自然災害や火災にもしっかり備えることができる「建物更生共済むてきプラス」や、新仕組みの「がん共済」の積極的なお知らせ活動を中心として、より魅力あるJA共済の普及活動を実施。実績ポイント4,841,708P※達成率125.3%（前年度4,595,968P）。
4. 短期共済は、自動車共済の新規獲得および保障内容充実に向け、スマイルサポーター・LA・安心サポーターの連携を強化。新規・継続を含めた契約件数は21,954件（前年度21,918件）の実績。また、最高水準保障のクルママスター占有率は28.8%（前年度28.5%）。万が一の自動車事故に際し、迅速な初期対応とネットワークを利用した契約者サービスを提供。
5. ペーパーレス・キャッシュレス手続きによる業務効率化・事務負担軽減を図るとともに、オンライン手続きに向けたWebマイページ登録を推進。
6. 社会貢献活動の一環として、4月に「管内中学校への反射材の贈呈（タスキ723本、テープ1,749枚）」、5月に「スタントマンによる自転車交通安全教室の開催」、9月に「松江市へのカーブミラー（50基）の贈呈」（9/30・写真）等、交通安全意識の啓発に取り組んだ。

## 経営・管理・人事

### 1. 経営

- (1) 農業情勢や事業環境が厳しい中、10年後を見据え「めざす姿」として策定した「第4次中期経営計画」ならびに「第4次農業戦略実践3ヵ年営農計画」の初年度として、各項目の進捗管理と目標達成に向けた事業改革・業務改善に取り組んだ。
- (2) 営農・経済事業改革として、(株)ジュンテンドーとの連携について協議を進め、4月からジュンテンドー大庭店との連携を開始することを

## 信用事業

1. 農業と地域、組合員・利用者をつなぐ金融商品の提供として、夏（6月～7月）と冬（12月～2月）の定期貯金キャンペーン、国消国産応援定期貯金キャンペーン（10月～2月）を実施。精力的に個人貯金増強に取り組み、貯金残高は1,388億54百万円（前年度1,365億97百万円）の実績。
2. 地域の農業メインバンク機能強化の取り組みとして、TACとの情報連携強化を図り、低利で利用しやすい農業資金を提供。新規貸出実績は83件、231,459千円（前年度87件、166,568千円）の実績。
3. 個人貸出金については、住宅・マイカー・教育ローンを中心に取り組んだ。特に子育て世帯を中心に、JAしまねで借り入れいただく「魅力ある金利」を提案可能とした「子育て応援宣言」を引き続き実施。貸出金残高は529億92百万円（前年度523億84百万円）の実績。
4. 年金指定口座獲得は、受給権が発生する方への訪問や無料の年金相談受付を随時行い、新規指定口座獲得に取り組んだ。また、JA以外の受給者へ向けた年金指定替え活動を実施。令和7年度3月末の年金受給者数は12,941名（前年度13,260名）となり、プレ年金受給者層へは年金予約獲得訪問を実施し、239件の予約実績（前年度267件）。
5. 年金友の会の活動は、「日帰り旅行（9月）」の実施と「第4回ゴルフコンペ（5月）」「第20回グラウンドゴルフ大会（10月）」を開催。（10/24・写真）
6. 資産形成・資産運用のサポートとして、組合員・利用者のニーズに沿った投資信託の販売に取り組み、販売額は200,997千円（前年度225,393千円）の実績。
7. 無料税務相談会を管内8会場（開催回数31回）で開催し、相続・贈与税や所得税を中心に53件の相談に対応。
8. 犯罪の未然防止や早期解決につなげることを目的に、防犯訓練を実施。（12/3・写真）



松江市にカーブミラーを寄贈  
(9月30日)





子ども食堂等へ寄付贈呈式  
(3月17日)



全国家の光大会で記事活用体験発表  
(2月25日)



「特殊詐欺」の防犯訓練  
(12月3日)

部の協力で「親子いもほり大会」を開催し、25組94名が参加。

- (4) 将来を担う子どもたちが、スポーツを通し友情を深め、明るく健やかに成長することを願い、「第20回記念キッズサッカー大会」を開催。(11/29～30・写真)

#### 4. 健康管理活動

| 検診名          | 受診人数 |
|--------------|------|
| 胸部CT検診       | 41人  |
| 腹部超音波（エコー）検診 | 183人 |
| 乳がん検診        | 34人  |
| 女性部健診        | 76人  |

### JAしまね農業振興支援事業・業績還元資金

#### 1. JAしまね農業振興支援事業

| 支援名                   | 内容                                              | 金額      |
|-----------------------|-------------------------------------------------|---------|
| 園芸重点6品目産地拡大支援         | ①たまねぎ(種子)319千円、②キャベツ(苗、生産資材)支援(農業法人1団体、認定農業者1名) | 623千円   |
| 有機農業取組支援              | 苗、生産資材支援                                        | 148千円   |
| 施設・農機具類等及び土づくり資材の導入支援 | 生産基盤強化を図るため(資材、農機具)支援(認定新規就農者9名)                | 756千円   |
| 合計                    |                                                 | 1,527千円 |

#### 2. 業績還元

| 資金使途     | 内容                                                                              | 金額      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 肥料農薬特価販売 | 各JAグリーン・グリーンショップ等で、組合員・利用者が幅広く購入される肥料と農薬を厳選し、3割引特売を実施(10/4～10/11) ※予算額に達したため終了。 | 4,891千円 |
| 支店独自還元企画 | ご来店感謝デーやエコロ祭等、支店運営委員と実施内容を協議し、各支店100千円(税込)を予算として総額1,300千円の業績還元を実施。              | 1,128千円 |
| 合計       |                                                                                 | 6,019千円 |

づくりと次世代の組合員化に向けて「組合員加入促進運動」に取り組み、正組合員は35名、准組合員は395名が加入。(資格変更、法人・団体を除く)

- (6) **ふれあい座談会**—令和8年1月～2月に全32会場で開催し、589名(正組合員502名・准組合員67名・員外20名)が参加。当地区本部の組織運営の基礎である集落が大きく変化する中、組合員の参加・参画が高まるよう開催単位・参集範囲・開催内容・形式について各支店運営委員会と協議し、各集落委員会にて決定し、開催。

#### 2. 広報・教育文化活動

- (1) JAしまね広報誌「JAしまねびより」やホームページ等により広報活動を展開。
- (2) 教育文化活動による協同組合の理解促進を深めるため、「家の光三誌(家の光・ちゃぐりん・地上)」「日本農業新聞」等、教育資材の普及拡大に取り組んだ。
- (3) 組合員・地域住民との絆づくりの一環として「支店だより」を全支店が発行。また、「くにびき創生PJ」で企画・立案し「SNSを活用した情報発信強化」について全20発信部署で取り組み、より身近な情報発信に努めた。(4/21・写真)

#### 3. 暮らしの活動・地域貢献・地域活性化

- (1) 「地域貢献・地域活性化」に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みについて、「1団体」を表彰。また、フードバンク・子ども食堂の普及・維持・拡大または開始するための活動支援を目的として、「3団体」への支援を実施。
- (2) 子どものいる「生活困窮世帯」に必要な食糧等を届ける「フードバンクしまね“あったか元気便”」に協力。くにびき女性部が主体となって6月と11月にそれぞれ「ひとり一品運動」を実施し、各支店単位で食品の持ち込み運動を展開して、食料提供に取り組んだ。また、「総合ポイントカード」で発生した失効ポイントの一部を活用し、子育て支援組織等27組織へ「全農商品券」等を寄付。(3/17・写真)
- (3) 青年連盟との共催とくにびき女性

部の確立と経営基盤の強化に向けた人づくり」として、JA島根中央会主催の各種階層別研修へ参加。また、各種資格試験について受験勧奨を実施。マネジメント能力向上に向け、管理職に目標管理・人事考課、職場マネジメントの研修会を実施。

### 組織・広報・教育文化活動、暮らしの活動・地域貢献・地域活性化、健康管理活動

#### 1. 組織

- (1) **農政会議**—関係団体と連携し行政へ有害鳥獣対策等の要望書を提出するとともに、農政の諸問題の要望について意見交換会を実施。また、研修会活動へ積極的に参加するとともに、松江市農林水産祭で「米のすくい取り」を実施し、松江市産米の消費拡大をPR。
- (2) **青年連盟**—地域の幼稚園に対し「田植え・稲刈り体験」の農業体験実習を実施。また、地域の小学校に対し「イチゴの授業」による食農教育に取り組んだ。さらに、地域住民との「ふれあい親子いもほり大会」を開催し、農業理解を促進。
- (3) **女性部**—目的別グループ活動は、3グループ(「文化歴史・趣味」・「営農加工」・「健康」)で9講座19回開催し、延べ512人が参加。県下女性部の活動として「米一握り運動」を実施し、くにびき女性部として184kgの米を集め、松江市内の子ども食堂、フードバンクへ寄贈。また、JAしまね広報誌での「くにびき女性部からのおすすめ料理」や、山陰中央新報の「かあちゃんのイチ押し献立」において料理を紹介。さらに「第67回全国家の光」都道府県代表体験発表会で、「家の光記事活用体験発表の部」に島根県代表として出場。(2/25・写真)
- (4) **女性大学**—サンサン女子大第7期の2年次として、食と農を主に文化、福祉等様々な分野のカリキュラムを通じて、参加者が自己啓発と交流や親睦を深耕。また、JA事業への関心と参画を高めることを目的として毎月講座を開催。
- (5) **組合員加入促進**—強固な組織基盤



### ①食と農を未来につなぐ持続可能な農業の実現

次世代の担い手確保や多様な農業者への支援、環境へ配慮した農業の推進により農業生産基盤を支えるとともに、島根県や市町村の行政機関をはじめとする関係機関・組織等と一体となって「農業所得の増大」、「安全・安心な国産農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障に貢献します。



### ②豊かな暮らし・地域社会の活性化

協同活動と総合事業を通じた組合員の願いの実現・課題解決により、組合員の暮らしへの貢献、地域社会の活性化・地域コミュニティの維持による地域社会の持続的発展に取り組みます。



### ③協同組合としての役割発揮を支える組織基盤の強化

組合員の意思反映に向けた組合員との対話に取り組むとともに、組合員の願いを把握し、協同活動と総合事業を通じて実現することで組合員との関係強化を図り、組合員とともに営農や暮らしの願いの実現に取り組みます。

また、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としてさらなる助け合いの力を発揮するため、JAの仲間づくりに取り組みます。



### ④健全・強固な経営基盤の強化

将来にわたり組合員・利用者のニーズに応え、価値提供していくため、不断の自己改革として、財務・収支の改善を図ることで、持続可能な経営基盤の確立に取り組めます。また、高度なガバナンス・内部統制の構築に取り組むことで、組合員・利用者から信頼される組織・業務運営を進めるとともに、組織・業務運営の原動力となる職員が働きやすい、働きたいと感じる職場づくりに取り組みます。



### ⑤農業・JAへの理解・共感の醸成

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた「食料安全保障の確保」、「適正な価格形成」に向けた地域の理解醸成及び行動変容に向けた情報発信に取り組めます。

また、食と農、地域を支える組織としてのJAに対する県民や幅広い関係者の理解・共感の醸成に取り組めます。

## 基本目標

## 松江市農業の振興

## 農業所得の増大

## 積極的な地域振興

## 事業方針

### 営農・農業振興

|    | 項 目                       | 内 容                                                     |
|----|---------------------------|---------------------------------------------------------|
| 1  | 営農指導員のレベルアップによる営農指導の充実    | 水稻栽培指導の強化（1等米比率70%）                                     |
| 2  | 担い手経営体の経営問題に対応した農業経営支援    | 農業経営コンサルティング（2件）、専門家派遣（2件）、集落営農・法人組織設立支援（1件）            |
| 3  | 実需者からの要望に応える島根米の集荷販売対策の強化 | 出荷目標数量（コシヒカリ：435t、つや姫：675t、きぬむすめ：900t、つきあかり：390t）       |
| 4  | 園芸重点推進6品目の面積、出荷量の拡大       | 産地化拡大（キャベツ：33ha、たまねぎ：5ha、ミニトマト：0.2ha、アスパラガス：0.4ha）      |
| 5  | しまね和牛の品質向上による市場平均価格向上     | 子牛市場平均価格：555千円                                          |
| 6  | 地域特産品目による生産振興の強化          | 生産面積・販売金額（南瓜：8ha15.3百万円、レタス：5ha12.2百万円、さつまいも：1ha1.9百万円） |
| 7  | 重点特産品目の持続可能な生産と担い手育成支援    | 牡丹生産量・販売金額（鉢：4千鉢16百万円、苗：4万本11百万円）                       |
| 8  | 産直販売強化による国消国産の推進          | 出荷者会員数：1,130名、産直販売額633百万円                               |
| 9  | 関係機関と連携したスマート農業の普及・啓発の実施  | 技術実証・導入支援（2事業）、研修会・実演会開催（年1回）                           |
| 10 | 市・県と連携した有機農業や資源循環型農業の促進   | 有機米生産振興：5ha、WCS持続的生産：95ha                               |
| 11 | 行政・関係機関と連携した鳥獣害対策支援       | 行政へ支援要請：年2回、プロジェクト対策支援                                  |

### くらしの活動等

1. 女性部・青年連盟と組織活動の強化ならびに支店協同活動（各支店1回）の実施
2. 「家の光三誌」・「日本農業新聞」の普及活動を通じた教育文化活動の振興（普及率：家の光13.7%、農業新聞7.8%）
3. 広報・SNSによる情報受発信の強化（支店だよりの全支店発行、SNSの活用による各種活動のPR・旬な情報の発信）

### 生活購買事業（自動車・LPガス）

1. 自動車展示会開催や独自キャンペーンの実施（車両販売200台・車検整備760台）
2. 他燃料からガス給湯器への転換とリース活用によるガス機器の普及（供給量565t）

### 資産管理・相続相談事業

1. 「相続・事業継承支援」による組合員・利用者とJAの世代を超えたつながりの構築（相談件数200件・研修会実施2回）
2. 組合員の土地活用ニーズに対するサポート

### 葬祭事業

1. 多様化する葬儀形態への対応力強化（施行件数570件）
2. 4会館を基軸とした葬儀受注強化と施行件数の少ない地域への利用促進（管内シェア率21%）

### 地区本部運営

1. 組合員の拡大とアクティブ・メンバーシップ<sup>\*</sup>の確立（※組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること）
2. 「くにびき改革推進プロジェクト」による地区本部独自の組織再編・事業改革・業務改善の実施
3. 「内部統制システム基本方針」に基づいたリスクの低減とコンプライアンスの徹底
4. 専門人材の育成、職場環境の充実（階層別研修会・安全衛生委員会・職場巡回等の実施）
5. 「新たな運営体制」への移行に向けた当地区本部で解決すべき課題について協議・検討



# 令和8年度 事業計画

令和8年4月1日  
～令和9年3月31日



## JAしまね 基本方針

JAしまねでは、「持続的な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を10年後の「めざす姿」として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標のもとで不断の自己改革を実践してまいりました。

令和8年度は第4次中期経営計画2年度目として、あらためて2030年に向かって挑戦する「めざす姿」を提起するとともに、その実現に向けて重点的に取り組む5つの柱を位置付け、運営体制の見直しを含む改革に取り組みます。

## くにびき地区本部 基本方針

### くにびき地区本部が掲げる3つのめざす姿

- ① 県都松江市の地区本部として、JAしまねの中核を担うとともに、松江市農業の振興と農業所得増大並びに地域振興の積極的な実践
  - ② 健全・強固な経営基盤の強化と事業収支の黒字化確保
  - ③ 燦燦と輝く、明るく元気で差別のない職場風土と働きやすい働きがいのある職場の実現
- 上記の3つを目指し、組合員・利用者の皆さまと地域にとって必要とされる地区本部となるよう取り組みます。



### 令和8年度事業収支計画（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

（単位：千円）

| 科 目      | 金 額       | 科 目      | 金 額       |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 事業総利益    | 2,784,079 | 事業管理費    | 2,772,352 |
| 信用事業     | 1,118,402 | 事業利益     | 11,727    |
| 共済事業     | 921,577   | 事業外利益    | 136,058   |
| 購買事業     | 276,893   | 事業外費用    | 44,496    |
| 販売事業     | 105,294   | 経常利益     | 103,289   |
| 保管事業     | 13,963    | 特別利益     | 10,000    |
| 加工事業     | 7,185     | 特別損失     | 70,000    |
| 利用事業     | 101,099   | 税引前当期利益  | 43,289    |
| 葬祭事業     | 256,406   | 法人税・住民税等 | 11,926    |
| 宅地等供給事業  | 14,548    | 当期剰余金    | 31,362    |
| その他事業    | 1,350     |          |           |
| 指導事業収支差額 | ▲32,639   |          |           |

# 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～く に び き 地 区 本 部 の 取 り 組 み～



和田さん（後列左）と園児たち

和田さんは「育てた花を家に飾ってもらい、花の美しさを感じてほしい。また、この活動を通して、花を飾ることが身近になり興味を持ってもらえたら嬉しい」と思いを語りました。

園児にヒマワリで花育活動  
く に び き 地 区 本 部 情 報

この取り組みは、園児に花を育てる喜びや愛着を持って生活の中で花を身近に感じて欲しいと、同組合の和田稔さんが当地区本部と一緒に平成30年から毎年実施しているもの。6月に和田さんと園芸特産課の坂根晃太職員が同園を訪れて園児と一緒に種まきを行い、その後園児たちが水やりをして立派に花が咲きました。

昨年と同様、玄関等で家族と一緒に観賞してもらいやすいよう、上向きに咲き花粉が落ちにくい品種「サンリッチアップオレンジ」を栽培。園児たちは満開に咲いたヒマワリを手にし、「大きくなってきれい」「たくさん取れてうれしい」と笑顔で話しました。

く に び き 地 区 本 部 情 報



ヒマワリを刈り取る園児と和田さん



「く に び き 南 瓜」 生 産 者 の 皆 さ ん

参加者は「今年は栽培管理にも一層注力し、品質・収量ともに期待している。収穫前に雨が続けているので心配もあるが、出荷まで管理を徹底し、収穫に臨みたい」と意気込みを語りました。

初めに、園芸特産課の犬山浩二係長が「本年産の栽培については、3～4月の低温による生育障害は軽微で、順調に生育しています。前年産を超える出荷量を期待していますので、1箱でも多く出荷できるよう栽培基準を厳守し、作業の遅れ等がないよう今後も管理願います」と呼びかけ、出荷の規格や出荷の日程について説明。併せて、実際に出荷前の南瓜を用いて、個数毎の詰め方の違いや品質基準の目合わせを行いました。

地区本部が重点振興品目として取り組んでいる「く に び き 南 瓜（ブラックのジョー）」が共販の出荷時期を迎え、6月26日に中海干拓研修センターで目合わせ会を実施し、生産者18名が参加しました。

「ブラックのジョー」はホクホクとした食感とほっこりとした甘みが人気の品種。同会は、県内外の市場に向けて共販出荷を開始するために、出荷規格や品質基準、梱包を確認する目的で毎年開催しています。



実際の南瓜を用いて説明する犬山係長と参加者

く に び き 南 瓜 ブ ラ ッ ク の ジ ョ ー  
共販出荷に向けて目合わせ会を実施

## 松江地域農業再生協議会からのお知らせ

# RTK-GNSS基準局が開局しました

令和8年6月25日（木）より、自動操舵システム（田植え機・トラクター等）・ドローン・GPSレベル等活用に必要なRTK-GNSS補正情報を配信する基準局を設置いたしました。ぜひ、ご利用ください。

|          |                                             |
|----------|---------------------------------------------|
| 設置場所     | 松江市玉湯支所                                     |
| 受信範囲     | 玉湯支所から半径20km以内（無人機は半径10km以内）でスマートフォンがつながる場所 |
| 作業精度     | 2～3cm程度の誤差で運転                               |
| ライセンス利用料 | 1ライセンスあたり 年間 12,000円                        |

【本件にかかるお問い合わせ先】

松江地域農業再生協議会（松江市農政課農業企画係） ☎55-5225

詳しい内容はこちらをご覧ください。 ▶





# 組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

## 美味しいオクラができるまで

### ～青年連盟による出前授業～

くにびき青年連盟（上山根有史委員長・64名）は7月13日、島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程の4年生58名に、オクラの出前授業を行いました。

初めに、事務局を務める営農企画課の長谷川幹課長補佐が、松江市の農業者数や推奨推進品目等について説明。続いて、三代由希子盟友が農業を始めたきっかけやオクラを選んだ理由、栽培方法について説明し、おすすめのレシピ等を紹介しました。参加した児童からは「なぜオクラはネバネバするのか」と質問があり、「ネバネバの主成分は『ペクチン』という食物繊維。食べると人間の胃や腸を守ってくれる健康の味方だよ」と答えていました。

その後の給食で、三代盟友のオクラを使った「からだにやさしい塩麴のポトフ」が登場。児童は「美味しくて何杯でも食べられる」と笑顔で話しました。



オクラを味わう児童



三代盟友による授業の様子

## お米作りの出前授業

### ～青年連盟が園児と交流～

くにびき青年連盟は7月7日、育英北幼稚園つき組の園児21名に、お米の種まきから食べるまでを一緒に学ぼうと、上山根委員長が先生となり、出前授業を行いました。

最初に、お米ができるまでの過程や食事の大切さ等を、スクリーンに映し出し



有害鳥獣対策の箱罫について説明をする上山根委員長（中央）と園児

画像を見ながら説明。また、農機具を実際に持つて確認する等、園児たちと楽しく交流しました。参加した園児からは「なぜお米の苗の長さは約12cmが良いのか」等の質問があり、「お米は水も好きだけど、太陽や空気も好きで、水の中では空気や太陽に触れることができず、おぼれてしまうから」と上山根委員長がわかりやすく答えていました。

授業後、食農教育をすすめるJAGグループの子ども雑誌「ちゃぐりん」8月号を全員にプレゼント。



参加した園児は「お米を作るための機械を初めて持ってみて、重たかったけど楽しかった。本も読んで、もっといろいろなことを知りたい」と元気に話してくれました。上山根委員長は「お米離れが進んでいるため、お米をしつかり食べてもらい、お米の大切さを知ってほしい。この活動を通じて、子どもたちの成長に繋がったら嬉しい」と語りました。園児たちは9月下旬に稲刈りを体験する予定です。

## 松江市農政会議が総会を開催



祝辞を述べる  
越野本部長



挨拶をする  
前田会長



長、福田正明島根県議会議員、野々内誠松江市議会議員、越野浩昭本部長をはじめ、同会議推薦議員等が来賓として参列。冒頭、前田会長が「農業を良くしていくために忌憚のないご意見をいただき、皆さまと力を合わせて農業の発展に繋げていきたい」と挨拶。また、越野本部長が「農業生産者の皆さまが厳しい状況を乗り越えられるよう、万全な予算の確保と現場に寄り添った農政を進め、『人づくり』『モノづくり』『しくみづくり』の実現に向け、課題を先送りすることなく、一丸となって取り組んでまいりましょう」と祝辞を述べました。

その後、大野支部の兼折隆代議員が議長に選任され、令和7年度の活動報告と令和8年度の事業計画等、全議案が承認されました。



# 取り組んでいます。

## ～くにびき地区本部の取り組み～

### 資産管理協議会が総会を開催



挨拶をする  
松浦会長

くにびき資産管理協議会（松浦嘉昭会長・141名）は7月5日、ホテル白鳥で第29回通常総会を開催しました。

当日は、来賓として中村隆副本部長や会員等41名が出席。冒頭、松浦会長が「JAとの協力を深め、本会の持続的発展のために、先進的な視点を学び共に歩んでまいりましょう」と挨拶。また、来賓の中村副本部長が「資産管理事業は、高齢化や相続の問題等が身近になる中で、非常に関心が高まっています。所有する資産を通じて次世代との繋がりを構築し、JAと貴会相互のさらなる発展に向けて取り組んでまいりましょう」と祝辞を述べました。

その後、川津支部の山本靖也会員を議長として、議事を進行。令和7年度の活動報告や令和8年度の活動計画等、全議案が承認されました。



総会の様子

総会後には、石倉司法書士・行政書士事務所の石倉直樹司法書士と島根県系統農協警察防犯対策協議会の石川忠文専務理事による研修をそれぞれ受講しました。

### 年金友の会親睦旅行

くにびき年金友の会（石倉一夫会長・15、488名）は6月26日～27日、広島方面へ一泊二日の親睦旅行を実施し、会員16名と職員が参加しました。初日は、「賀茂鶴酒造・西条酒蔵通り」で、酒蔵見学や試飲をしながら散策。その後、「道の駅西条のん太の酒蔵」で新鮮な農産物をはじめ、東広島10歳の日本酒や地元有名店の菓子等の買い物を満喫しました。その後予定していたマツダスタジアムでのプロ野球観戦は、雨天により中止となりました。2日目は呉市へ移動し、海上自衛隊呉基地に所属する護衛艦や潜水艦を間近から見学できる観光クルーズ。ガイドの解説を聞きながら、港内遊覧を楽しみました。その後、4月にリニールオーブンした「大和ミュージアム」で、科学技術のデジタル展示や屋外にある実物展示等を鑑賞しました。

参加者は「プロ野球観戦が雨天中止で残念だったが、呉では天気が良かった」「とても心に残る楽しい旅行だった」と笑顔で話しました。



大和ミュージアムで記念撮影をする参加者

### くにびき女性部日帰り親睦研修旅行

くにびき女性部（諏訪智子部長・747名）は7月2日、日帰り親睦研修旅行を実施し、部員30名と越野浩昭本部長、職員が参加しました。

当地区本部を出発し、平成31年4月にリニールオーブンした広島平和記念資料館を見学。遺品や写真等で被爆者一人ひとりの暮らしや人生に焦点を当てた展示に、日常が突然に失われる被爆の悲惨さや平和の尊さを改めて感じました。その後、瀬戸内海と広島市が一望できる「グランドプリンスホテル広島」でランチビュッフェを堪能し、「Wood Egg お好み焼館」では限定のお土産やお好み焼きグッズ等の買い物を楽しみました。さらに、JA全農ひろしまが運営する大型産直市場「とれたて元氣市広島店」を視察。新鮮な野菜や果物、瀬戸内海の鮮魚等が豊富に並ぶ様子に、部員たちは一つ一つ商品を手にとり、品定めをしていました。



ランチビュッフェを楽しむ女性部員



平和記念公園で記念撮影する越野本部長（前列右から2番目）と女性部員



# 組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて

## 燦燦会がセミナーを開催！

### 「組織の心をひとつに」つながりを深める



ロゴマークを考えた  
奥村さん



挨拶をする  
越野顧問



挨拶をする  
松浦会長

くにびき地区本部と172の企業、団体が構成する「燦燦会（松浦嘉昭会長）」は7月21日、ホテル白鳥でセミナーを開催し、60企業より127名が出席しました。同会は、当地区本部が地元企業や団体との連携を深め、事業の発展と相互の交流を図る目的で平成28年11月に設立。講演会や企業見学会などの各事業を実施し、会員相互の交流促進につなげています。

セミナー開会に先立ち、松浦会長



講演を聞く会員の皆さん



講演をする桐谷氏

が「皆さまの当会に対する熱い思いがいろいろな形で私の元に届いており、大変ありがたいと思っています。本日は、著名な桐谷先生に講演をお願いすることができました。また、募集していた本会のロゴマークの発表もありますので、楽しみにしててください」と挨拶。続いて、同会顧問の越野浩昭本部長が「設立から10年が経ちますが、松江市内を中心とした数多くの企業・団体の皆さまに支えられ、当会が大きくなっていることを感じています。JAだけではこれほどまでに大きな輪に広がることはなく、これもひとえに皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます」と述べました。その後、10年を記念し募集したロゴマークについて、審査結果を発表。島根電工(株)松江営業所の奥村光平さんが応募した作品が選ばれ、表彰状と記念品を授与されました。続いて講演会に移り、優待投資家でプロ棋士八段の桐谷広人氏が、「山あり谷あり楽しい人生」と題して講演。プロ棋士になるまでの道のりや優待株の投資を始めたきっかけ、テレビ番組に出演するようになった経過や裏話を語り、トレードマークでもあるリュックサックから優待券のみが入っている優待財布を披露すると、会場がどっと沸きました。参加した会員は「具体例を交えたお話でわかりやすく、貴重な時間でした」と感想を述べていました。

## くにびき女性部



## 無添加で美味しい調味料作り！～営農加工グループ～



協力しながら作業をする様子

参加者は笑顔を見せていました。参加した部員は「家にあるもので作れる焼き肉のタレに感激。材料がわかるため、安心して食べられる」「ポリ袋で炊くお米も初めてだったが、経験できて良かった」と話しました。



## 日本茶を学ぼう！～文化歴史・趣味グループ～

くにびき女性部文化歴史・趣味グループ（川下千寿子代表）は7月9日、営農総合センター2階で「お茶処まつえ！日本茶の歴史と作法を学ぼう！」を開催し、午前・午後に分かれ、合計51名が参加しました。

当日は、(有)お茶の三幸園の大島正也代表取締役を講師に迎え、お茶の歴史や効能等について受講し、煎茶の淹れ方や抹茶の点て方を実際に体験しながら学びました。

参加した部員は「お茶の歴史や世界の状況、生産方法等幅広い話が聞けて、知識が深まった」「煎茶や抹茶の点て方を学び、お茶の淹れ方を変えることで味も変わるのを感じた。とても心とむ講座だった」と笑顔で話しました。



抹茶の点て方を指導する大島正也代表取締役(右)と参加者



# JAしまね くにびき年金友の会親睦旅行

■旅行実施日

2026年10月23日（金）～24日（土）

■旅行代金（大人お一人様／洋室2名1室利用）

会員価格 **82,900円**（税込） 一般価格 **84,900円**（税込）

■1名1室利用追加代金／お一人様5,000円（税込）

■募集人員／25名 ■最少催行人員／20名

■募集開始日／2026年8月24日（月）

■申込締切日／2026年9月18日（金）※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

■申込金／20,000円（旅行代金に充当いたします）

■添乗員／同行して旅程管理業務を行います。■食事条件／朝1回・昼2回・夕1回

■利用予定ホテル／京都市内：ホテルマイステイズ京都四条又は同等クラス

■利用予定貸切バス会社／仁多観光バス又は同等クラス

※運行貸切バス業者名は、最終確定書面にてご案内いたします。

※弊社「貸切バス事業者リスト」（当社ウェブサイト <http://ntour.jp/covenant/bus>）をご覧ください。

| 日次 | 行程                      | ①入場観光 ②下車観光 ③車窓観光 ④お買物 | 食事       |
|----|-------------------------|------------------------|----------|
| 1  | JALしまねくにびき地区本部<br>6:45  | 貸切バス                   | 朝食       |
|    | しょうざんリゾート京都             | チェックイン（お部屋に荷物入れ）       |          |
|    | ホテル                     |                        |          |
|    | 市川團十郎特別公演（18:00開演）      | 京懐石の夕食                 |          |
|    | ○祇園（花見小路通）              | ○南座                    | 先斗町いづもや  |
|    | 京都市内（泊）<br>20:15        |                        |          |
| 2  | ホテル                     | ○三十三間堂                 | ○元離宮 二条城 |
|    | 8:45                    | 朝食                     | お買物      |
|    | 八つ橋庵としゅうやかた             | ▲atelier 京ばあむ          |          |
|    | JALしまねくにびき地区本部<br>18:40 |                        |          |

※都合により行程および時刻は変更になる場合がございます。※後日改めて、集合・解散地（および時刻）をお知らせいたします。



市川團十郎 特別公演

日本文化を楽しむ

元離宮 二条城

南座提供写真（バナー）



京都 2日間

## 温泉津伝統の繁見亭とさんべ縄文の森 日帰りの旅

日本最大級の現役登り窯と温泉津焼にふれる  
温泉津やきものの里



■旅行実施日

2026年11月13日（金）

■旅行代金（大人お一人様）

会員価格 **12,800円**（税込） 一般価格 **14,800円**（税込）

※JAしまねくにびき地区本部にて年金を受け取られている方（予約者含む）は、年金友の会会員価格でご参加いただけます。会員以外は一一般価格となります。

■募集開始日／2026年8月24日（月）

■申込締切日／2026年10月23日（金）

※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

■募集人員／45名 ■申込金／6,000円（旅行代金に充当いたします）

■添乗員／同行して旅程管理業務を行います。■最少催行人員／40名

■食事条件／朝0回・昼1回・夕0回

■利用予定貸切バス会社／仁多観光バス又は同等クラス

※運行貸切バス業者名は、最終確定書面にてご案内いたします。

※弊社「貸切バス事業者リスト」（当社ウェブサイト <http://ntour.jp/covenant/bus>）をご覧ください。

| 日次 | 行程                      | ①入場観光 ②下車観光 ③車窓 ④お買物 | 食事 |
|----|-------------------------|----------------------|----|
| 1  | JALしまねくにびき地区本部<br>7:45  | 貸切バス                 |    |
|    | JALしまね宍道支店              | 日本最大級の現役登り窯          |    |
|    | 国民宿舎 さんべ荘               | 体感的な展示で紹介            |    |
|    | ○島根県立三瓶自然館サヒメル 新館       | 縄文時代の森を現地展示          |    |
|    | JALしまね宍道支店              | ○さんべ縄文の森ミュージアム       |    |
|    | JALしまねくにびき地区本部<br>17:30 |                      |    |

※都合により行程および時刻は変更になる場合がございます。※後日改めて、集合・解散地（および時刻）をお知らせいたします。

お申し込みは農協観光へ電話かFAXでご連絡くださいませ。

この旅行は国内旅行中のケガや事故などで、死亡・後遺症・携帶品や賠償責任・救援費用等を補償する「うさぎ（国内旅行総合保険）」に加入しています。詳しくは弊社社員へご相談ください。

■旅行企画・実施・お申し込み・お問い合わせは

観光庁長官登録旅行業第939号

株式会社 農協観光

中国支店 島根エリアセンター

☎0852(26)2600 FAX 0852(26)2603

F690-0065 松江市灘町1-7（松江プラザビル8F）総合旅行業務取扱管理者 鎮波 康二・清松 哲之



＜特別な配慮を必要とする方のお申し込みについて＞

お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要になる可能性があります。詳細は、「旅行取引条件説明書」の「お申込み条件」を確認のうえ、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので、必ずお申し出ください。

JAしまね くにびき年金友の会に関するお問い合わせは

くにびき統括支店 金融課 ☎55-3028

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたらご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。



# 第35回 ふれあい親子いもほり大会

日時：令和8年10月3日(土) 9:00~9:30 集合・受付  
 受付：JA中海干拓営農センター（松江市東出雲町錦浜431-2）  
 会場：中海干拓地 ※開会式終了後 徒歩にて移動



◆参加費：申込1組6名まで 1,500円（いも持ち帰り用袋1枚付）追加袋は1袋1枚500円（当日、現金にて申し受けます）

※無断キャンセルの場合は、参加費1,500円を後日ご請求させていただきます。

◆募集数：松江市在住の幼稚（保育）園・小学生とその家族（保護者2名まで）150名  
 ※中学生以上のお子さまが参加される場合は、保護者の人数としてカウントします。

◆参加申込：受付期間内に、ホームページ上に掲載の参加申込フォームにて受付します。  
 詳しくはくにびき地区本部ホームページでご確認ください。

◆受付期間：令和8年9月1日（火）9:00～令和8年9月11日（金）17:00  
 ※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

◆ご持参品：移植ゴテ・水筒・敷物をご持参ください。

◆注意事項：（1）収穫袋は主催者で準備し、受付にて配布します。配布する袋以外での収穫は禁止します。  
 （2）本大会は、親子で大自然の中の「ふれあい」を目的に実施しています。大人だけの「芋収穫」の参加はご遠慮ください。また、クワ・スコップの持ち込みはお断りします。  
 （3）当日限定緊急連絡先：090-6835-5233（ふれあい課携帯）  
 （4）少雨決行いたします。天候不順等により中止する場合は、当日の7:00までに登録いただいたメールアドレスに連絡いたします。  
 （5）お申込みいただいた個人情報は、今大会のみに使用いたします。  
 （6）撮影した写真はJA広報誌、日本農業新聞、ホームページ、SNS等JAが行う広報活動等に関わる各種媒体で使用いたします。予めご了承ください。

お申込みはこちらから



JALまね 検索

## スケジュール

9:00～ 9:30 集合・受付  
 9:30～10:00 開会式・ちゃぐりんクイズ（徒歩にて移動）  
 10:15～11:15 いもほり  
 11:15～11:45 表彰式・抽選会・閉会式  
 ★ジャンボいもコンクール ★抽選会 ★女性部特製いもだんご汁販売



《主催：JAしまねくにびき地区本部・JAしまねくにびき青年連盟/共催：JAしまねくにびき女性部/後援：（一社）家の光協会》

◆お問い合わせ先：JAしまねくにびき地区本部 ふれあい課 TEL 55-3018  
 メールアドレス kunibiki-event.kun@ja-shimane.gr.jp

JA貯金窓口でのお手続きは

## タブレットで 簡単・便利に

JAバンクでの  
お取引を  
もっと便利に



スマイルナビでできること

1

タッチで簡単お取引！



タブレットの画面に沿って入力・選択するだけで、お取引の受付ができます。

2

カードで自動入力！



キャッシュカードをご持参いただくと、住所等のお客様情報や口座情報が自動で入力されます。

3

複数のお取引もスムーズ！



複数のお取引でも、2件目以降は署名不要。続けて入力する場合も、同じ内容は自動表示されます。



タブレット画面で  
文字が見やすく、  
簡単に操作ができ  
とっても便利だぞう！



©よりぞう

ご利用いただけるお取引



お預入れ



お引出し



お振込み



お届け内容の変更



定期貯金



定期積金



普通貯金等のご解約



キャッシュカードの発行・再発行等

職員がご案内いたします、  
お声掛けください



一部の取引・店舗ではご利用いただけない場合がございます。詳しくは窓口までおたずねください。





# サンサン女子大

JAしまね  
くにびき女性大学

## 第8期生募集!

**期 間** 2026.10月~2028.8月 (受講回数 1年次: 8回 2年次: 8回)

**受 講 料** 年間 12,000円 (税込)  
※講座によっては別途材料費等が必要です。  
※中途退学の場合、返金はありません。

**受講対象者** ①と②を満たす方  
①松江市に在住もしくは勤務されている20~50歳までの女性  
②JAしまねの組合員及び組合員加入希望者  
(入学時に1口1,000円以上出資される方)

**募 集 定 員** 先着 30名

**申込受付期間** 2026年8月17日(月) 9:00  
~ 9月18日(金) 17:00

※入学可否については、申込受付期間終了後にご連絡します。

**お問い合わせ**  
企画総務部ふれあい課  
〒690-0823 松江市西川津町1635-1  
TEL 0852-55-3018 FAX 0852-32-6870  
Mail community-affairs.kunja-shimane.gr.jp

**お申し込み方法**  
右記専用フォームからお申し込みください。

8月17日(月)  
申込開始



### 入学特典

JAグループ発行の  
雑誌「家の光」  
年間無料贈呈

女性大学卒業者には、山陰中央新報社文化センター松江、出雲教室への入会金(3,300円)が免除されます。

JAしまねくにびき地区本部では、山陰中央新報社文化センターと提携し、暮らしを彩る講座が盛りだくさんな「サンサン女子大」を開講します。カリキュラムを通じて自分を磨き、仲間と一緒に楽しく学んでみませんか?

※サンサン=燦燦とは「日光などがまばゆいほど明るく照り輝くこと」を表します。受講生の皆さまが、講座を通じてサンサンと輝けるように、との願いをこめました。



小村事務局長

### 第8期：1年次カリキュラム (2026年10月~2027年9月)

|                                  |                                                                 |                                                     |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 2026年<br>10/17(土)<br>10:00-12:00 | <b>入学式<br/>JA基礎講座</b><br>[講師] 副学長(統括部長)                         | JAしまねくにびき地区本部の概況や管内の農業情勢などについて、わかりやすくお話しします。        |
| 11/14(土)<br>10:00-12:00          | <b>干し柿作り</b><br>[講師] 営農経済部                                      | 松江市特産の西条柿で「干し柿」作りに挑戦します。吊るした柿を持ち帰って干してみましょ。         |
| 2027年<br>1/16(土)<br>10:00-12:00  | <b>みそ作り</b><br>[講師] く に び き 女 性 部                               | 茹でた大豆と麴を使って、無添加のみそを作ります。仕込んだみそは10月以降にお渡しします。        |
| 2/24(水)<br>18:30-20:00           | <b>大人の新聞教室&amp;社内見学</b><br>[講師] 山陰中央新報社                         | 情報源としてはもちろん、子どもの学力向上、認知症予防など多様な活用法を伝授。夜の編集現場も見学します。 |
| 4/17(土)<br>10:00-12:00           | <b>家庭で焙煎コーヒー</b><br>[講師] 高井すみ子<br>(山陰一杯のコーヒーから地球が見える公認インストラクター) | オーガニックを含む最高品質の生豆を使い、家庭でできる焙煎の知識や技術を学びます。            |
| 5/29(土)<br>10:00-12:00           | <b>ジビエ料理教室</b><br>[講師] 森脇香奈江<br>(合同会社 社百円)                      | 有害鳥獣対策やジビエについて学び、調理を通して「命をいただく」大切さを考えましょう。          |
| 7/3(土)<br>10:00-12:00            | <b>心も体も動き出すサルサ入門</b><br>[講師] MIO<br>(サルサダンサー/インストラクター)          | 明るいラテンの音楽に合わせて体を動かし、リズム感・スタミナ・バランスを鍛えましょう。          |
| 8/28(土)<br>10:00-12:00           | <b>JA営農施設学習</b><br>[講師] くにびき協同サービス 営農経済部                        | 日頃見ることのない、くにびき管内のJA営農関連施設を見学します。                    |

### 第8期：2年次カリキュラム (2027年10月~2028年9月)

|              |                                                            |                                                       |
|--------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 2027年<br>10月 | <b>『家の光』ハンドメイド講座</b><br>[講師] 影山和美<br>(家の光講師)               | 『家の光』の掲載記事を活用した、手軽に楽しめる手芸作品づくりに挑戦します。                 |
| 11月          | <b>ハッピーコミュニケーション</b><br>[講師] おがっち<br>(フリーアナウンサー)           | 山陰で活躍中のフリーアナウンサーが「楽しい話し方」を伝えます。コミュニケーション術を会得して、会話上手に。 |
| 2028年<br>1月  | <b>バランスボールで運動不足解消</b><br>[講師] 奥奈々恵<br>(体カメンテナンス協会インストラクター) | バランスボールのエクササイズで、関節に負担をかけずに体力・筋力・免疫力アップを目指します。         |
| 2月           | <b>フラワーアレンジメント</b><br>[講師] 営農経済部                           | 色とりどりの花を使って、オリジナルのフラワーアレンジメント作りに挑戦します。                |
| 4月           | <b>飾り巻き寿司</b><br>[講師] 田中佳代子<br>(飾り巻き寿司インストラクター)            | 作って楽しい、見て可愛い、食べておいしい、切った断面からきれいな絵柄が現れる「飾り巻き寿司」を作ります。  |
| 5月           | <b>大人の修学旅行</b><br>[講師] ふれあい課                               | 行き先や内容を相談して企画。仲間と一緒に学び、思い出に残る1日を過ごしましょう。              |
| 7月           | <b>中海干拓地で学ぶ農業体験(トウモロコシ収穫)</b><br>[講師] みよちゃん農園              | 中海干拓地の圃場で、甘くておいしいトウモロコシの収穫を体験します。                     |
| 8月           | <b>家の光読書卒業式</b><br>[講師] く に び き 女 性 部 ふれあい課                | 仲間とともに歩んだ2年間の学びを振り返り、新たな門出を祝います。                      |

※カリキュラムの内容・日程は変更となる場合がありますので、ご了承願います。 ※講座によっては、別途材料費等が必要です。



／＼作ってみませんか？／＼

# くにびき女性部からのおすすすめ料理



津田支部のみなさん

(1列目 左から)

(2列目 左から)

今月の  
料理人

- 郷原 敦子さん
- 菅井佳代子さん
- 諏訪 智子さん
- 三島 美鈴さん
- 浅野三枝子さん
- 廣江多紀枝さん
- 三島 幸恵さん



## 野菜たっぷりぶっかけだし、ズッキーニのオムレツ

旬の夏野菜をたっぷり使った、栄養満点の2品をご紹介します。「野菜たっぷりぶっかけだし」は、夏野菜の持ち味を活かしさっぱりと食べられる、アレンジも自由自在な一品です。「ズッキーニのオムレツ」は、ズッキーニの瑞々しさと卵のやさしい甘みが相性抜群で、お子様から大人まで大好きな味です。暑さで食欲が落ちやすい時期ですが、色鮮やかな夏野菜の力で、毎日を元気に過ごしましょう。

### 野菜たっぷりぶっかけだし (4人分)

キュウリ …… 大1本 青じそ …… 3〜4枚 しょうゆ …… 大さじ1と2分の1  
ナス …… 大1本 オクラ …… 4本 みりん …… 大さじ1と2分の1 ①  
長ネギ …… 2分の1束 トマト …… 大1個 顆粒だしの素 …… 小さじ3分の1  
ミョウガ …… 2個 削り節 …… 小パック2分の1

### 作り方

- ①キュウリ、ナスを小さめの角切りにする。塩小さじ2分の1(分量外)をふり、水気が出たら絞る。
- ②ネギ、ミョウガは小さめの角切り、青じそは粗みじん切り、トマトは1cmの角切りにする。オクラは茹でて、小さめの角切りにする。
- ③ボウルに①と②を入れ、①と削り節を加え混ぜ合わせる。冷蔵庫で30分くらいおき、なじませる。
- ④お好みでめんつゆで味を調え、素麺にかけて出来上がり。

### ポイント

- ・野菜をなるべく小さく切の方がからみやすく、味がなじみます。
- ・豆腐やご飯にかけて食べてもおいしいです。

### ズッキーニのオムレツ (4人分)

卵 …… 3個 水 …… 大さじ1  
ズッキーニ …… 1本 塩 …… ひとつまみ  
ベーコン …… 40g ごま油 …… 小さじ2分の1  
片栗粉 …… 小さじ1と2分の1

### 作り方

- ①ベーコンを食べやすい大きさに切る。ズッキーニはスライサーで薄切りにする。
- ②片栗粉と水を合わせよく混ぜ、卵を割り入れ、塩を加えて溶きほぐす。ズッキーニとベーコンを加えてざっと混ぜ合わせる。
- ③直径16〜18cmのフライパンにごま油を入れて弱火の中火にかける。②を流し入れふたをする。卵が固まってきたら、裏返して弱火で7分ほどじっくりと焼く。
- ④焼きあがったオムレツを切り、ニラだれをかけて食べる。

### ニラだれ (4人分)

ニラ …… 1把  
サラダ油 …… 60ml  
しょうゆ …… 大さじ2と2分の1  
オイスターソース …… 大さじ2分の1  
ごま油 …… 大さじ2分の1 ①  
砂糖 …… 小さじ2分の1  
こしょう …… 少々

### 作り方

- ①ニラを5mm幅に切って酒小さじ1(分量外)になじませる。
- ②フライパンにサラダ油を入れ3分間、煙が出るまで熱する。
- ③②に①を入れてから火を止め、①に加える。ラップをして1分間なじませる。

## おたよりコーナー

たくさんのご意見、ご要望  
ありがとうございました。  
いただいた内容の一部をご紹  
介させていただきます。

- 「くにびき女性部さんのレシピ」や「しめなうレシピ」で、旬の食材がうまく使われていて参考になります。(40代 M・Kさん)
- 若い世代が農業に携わっておられる記事を読むと明るい気持ちになります。(60代 S・Mさん)
- 充実した内容で毎月楽しみにしています。(50代 T・Aさん)
- 地域社会との共存をこれからも活発に行ってください。(60代 Y・Aさん)

6月号のクロスワードは147件のご応募がありました。ありがとうございました。



## 9月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で  
お受けしています。

| 日  | 曜日 | 相談会内容 | 場所・予約先電話番号・時間                     |
|----|----|-------|-----------------------------------|
| 8  | 火  | 税務相談会 | 川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00~12:00   |
| 9  | 水  | 税務相談会 | 乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00~12:00   |
| 10 | 木  | 税務相談会 | くにびき支店 (TEL: 55-3028) 10:00~12:00 |

※事前にご予約をお願いします。予約先: 開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローンセンターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※9月の土曜営業日は5日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

9月 ふれあい訪問日

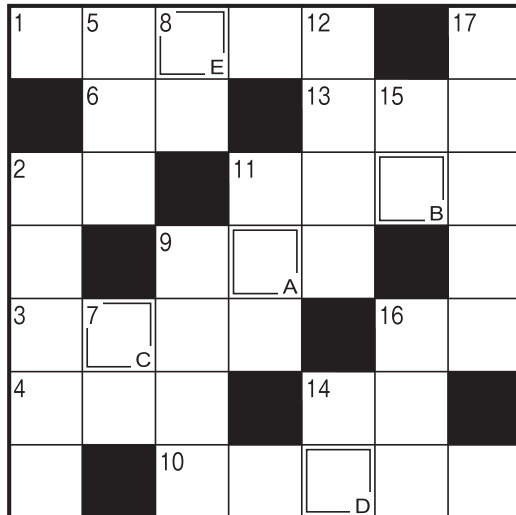
9月16日(水)・17日(木)





二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|

### タテのカギ

- ② ススキや月見団子を供える行事
- ⑤ ブドウを使って仕込む酒
- ⑦ エックスとゼットのあいだ
- ⑧ カミの反対
- ⑨ 北海道の市。監獄があったことで有名
- ⑪ 悪いものが入っていないか、先に食べて証明します
- ⑫ 高橋真梨子のヒット曲『——吐息』
- ⑭ 羊の肉はマトン。子羊の肉は
- ⑮ 落花生にはタンパク——も豊富に含まれます
- ⑯ 鹿児島県の桜島は活発に繰り返しています
- ⑰ はえば立て、立てば歩めの——

### ヨコのカギ

- ① 秋らしい風情の雲。魚の名前がつきます
- ② 天・地・——
- ③ 大酒飲みのこと
- ④ 先手が黒、後手が白を使います
- ⑥ さつま、里、こんにやくといえ
- ⑨ でこぼこの進みづらい道のこと
- ⑩ 音楽にのれる人に備わっているもの
- ⑪ アルバイト、グミ、カルテといった言葉の元はこれ
- ⑬ 形態——はものまねの一種
- ⑭ サギソウもデンドロビウムもこの仲間
- ⑰ ゆっくりつかって疲れを取り

### 応募要項

#### 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



#### 賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

#### 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

#### 宛先・締切

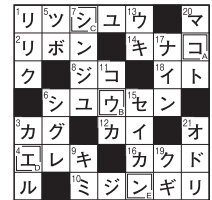
〒690-0823 松江市西川津町1635-1

JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係

2026年9月4日（金）（当日消印有効）

#### 先月号の答え

#### 「コウセン」



## 川柳の広場

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

### 最優秀賞

世の中を分かったつもり今日を生き

隠岐の島町 上川 晃一様

### 優秀賞

炎天下水と覚悟を連れて出る

出雲市 櫛井 伸幸様

夢きらきらたくさん光っていた夜店

兵庫県 小田 和子様

少年の日の思い出や鰻釣り

兵庫県 小田 慶喜様

### 佳作

八十路坂欲を味方に動く足

出雲市 坂本ヤヨイ様

生きている証だ今朝の水美味い

出雲市 竹田 和子様

ちっぽけな悩みと気づく広い空

出雲市 佐野美和子様

長寿とはほどよき酒とよき笑顔

雲南市 飯塚 保春様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 900円

ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

#### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

#### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
JAしまね ふれあい広報課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
FAX：0852-67-7708  
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

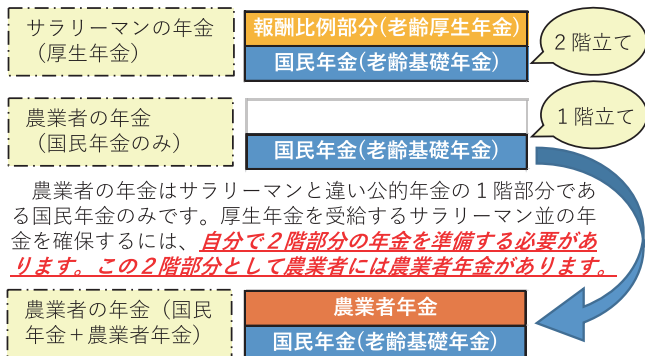
・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



## 知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



## まず農業者年金ってなに？



## でも…加入する条件があるんでしょ？

## 農業者年金 には…

国民年金  
第1号  
被保険者  
国民年金保険料  
納付免除者を除く

年間60日以上  
農業に従事

65歳未満  
60歳～65歳未満の  
方は、国民年金任  
意加入被保険者に  
限ります。

の方なら **どなたでも** 加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…  
だけど税金が多くなるのでは…  
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、  
その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

**月額最大1万円の保険料補助**

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

## ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ  
駆除

近寄らず、触らず！！

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に  
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 ☎0852-26-6757 ■出雲営業所 ☎0853-31-9600

■益田営業所 ☎0856-22-5390 ■江津出張所 ☎0855-52-6852

■隠岐営業所 ☎08512-2-2471

# 島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

## ズッキーニのマリネ

### 材料（4人分）

ズッキーニ……………400g  
オリーブ油……………大さじ1  
塩こしょう……………少々  
玉ねぎ……………1個（300g）  
ピーマン…4～5本（50g）  
A かんたん酢……………100cc  
薄口醤油……………大さじ1  
粗びき黒胡椒……………少々

### コメント

- ・油控えてヘルシーなのに、コクがあって大満足の一品です！
- ・大きく育ってしまったズッキーニでも食べやすく、日持ちもするお助け副菜。

### 作り方

- ①玉ねぎは薄くスライスする。辛みが気になる場合は水にさらすか、しばらく空気にさらし辛みを取る。
- ②ボウルにAの調味料を混ぜ合わせ、①の玉ねぎを加えてひと混ぜする。
- ③ズッキーニを厚さ1cmの輪切り又は半月切りにする。
- ④フライパンにオリーブ油を熱し、ズッキーニを並べ入れ、塩こしょうを振る。焼き色がついたら裏返し、好みの硬さに焼く。
- ⑤ズッキーニが熱いうちに、②のボウルに浸す。
- ⑥薄くスライスしたピーマンも加え、ひと混ぜする。



### アレンジ

- ・タコやエビ、サーモン、ちりめんじゃこなどシーフードを足すと、バリエーションが広がります。
- ・野菜は茄子、人参、南瓜、長ネギ等を焼いて入れたり、トマト、アボカド、きゅうり等をひと口大に切って入れたり、いろいろな野菜の組み合わせが楽しめます。

## トマ玉丼

### 材料（4人分）

トマト……………3個（500g）  
玉ねぎ……………1個（250g）  
オクラ……………4本  
豆腐……………150g  
卵……………3個  
水……………300cc  
A 砂糖……………大さじ1  
みりん……………大さじ1  
醤油……………大さじ3  
天かす……………大さじ4～  
ごはん……………4杯分

### コメント

- ・豆腐と卵でプロテインもしっかりチャージ！お肉なしでも大満足のスピード夏丼。
- ・だいりす！完熟トマトの天然の旨味と酸味が広がる夏の食欲回復に役立！

### 作り方

- ①トマトはヘタを取り、ひと口大に切る（お好みで湯むきにして皮を取る）。玉ねぎは縦半分に切って、5ミリ幅の薄切りにする。豆腐は1.5cm角に切る。オクラは板ずりして3ミリの厚さの輪切りにする。
- ②鍋にトマトと玉ねぎ、分量の水を入れて火にかけ、沸騰したら中火にし、玉ねぎに火を通す。
- ③②に豆腐とAを加え、再び沸騰したらオクラと溶き卵を回し入れ、ざっと混ぜて半熟のうちに火を止める。
- ④器に盛ったご飯の上に、③をかけ、天かすを振りかける。



### アレンジ

- ・材料をオリーブ油で炒め、ピザ用チーズを加えて塩こしょうで味付けすればイタリアン丼に！
- ・豆腐を豚肉・牛肉・鶏肉に代えて、スタミナアップ！味付けは焼肉のためてOK！

## 健康散歩 For Your Health

## トイレが近くて困っていませんか？

JA島根厚生連

日中にトイレへ行く回数が多くて困っていませんか？

一般的に、成人の排尿回数は1日に5～7回程度とされており、排尿後に次の尿意を感じるまでは3～5時間程度かかるといわれています。一方で、尿意を感じる間隔が短くなり、排尿が1日に8回以上みられる場合は「頻尿」にあたるとされています。ただし排尿回数には個人差があり、回数がそれほど多くなくてもご自身が「トイレが近くて困る」と感じている場合には、頻尿として対応が必要なものもあります。

頻尿の原因には、次のようなものがあります。

### ■ 過活動膀胱

膀胱が過敏になり、尿が十分に溜まっていなくても膀胱が勝手に収縮してしまう病気です。急に強い尿意が起こり、トイレの回数が増えます。

### ■ 前立腺肥大

前立腺が大きくなることで尿道が圧迫され、尿が出にくくなります。排尿後もすっきりしない感じ（残尿感）があり、

何度もトイレに行きたくなくなることがあります。

### ■ 加齢・妊娠・出産

加齢や妊娠、出産によって膀胱や骨盤周囲の筋力が低下すると、一度に膀胱にためられる尿の量が減り、頻尿につながることがあります。

### ■ 膀胱炎

細菌が膀胱に入り炎症が起こることで、膀胱が刺激を受けやすくなります。そのため、尿があまり溜まっていなくても尿意を感じ、頻尿にトイレへ行くようになります。

頻尿は、原因に応じた治療や対策によって改善が期待できます。「トイレが近くて困る」、「夜中に何度も起きて眠れない」、「外出時にトイレが気になってしまう」など、日常生活に支障がある場合は、早めにかかりつけ医や泌尿器科に相談しましょう。



【編集後記】島根米の新品種の名称が「つぶきらり」に決まりました！試食をさせていただく機会がありましたが、その名が表す通り大粒で美しく、一口だけでしたがとても美味しかったです！再来年から本格的に栽培が始まるとのこと。本誌でもしっかりPRしながら、楽しみに待ちたいと思います！（児）

